

学生の確保の見通し等を記載した書類

目 次

(1)	学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況・・・・・・・・・・	1
①	学生の確保の見通し・・・・・・・・・・	1
	ア 定員充足の見込み・・・・・・・・・・	1
	イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要・・・・・・・・	4
	ウ 学生納付金の設定の考え方・・・・・・・・・・	9
②	学生確保に向けた具体的な取組状況・・・・・・・・・・	9
(2)	人材需要の動向等社会の要請・・・・・・・・・・	13
①	人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(概要).....	13
②	上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたもので あることの客観的な根拠・・・・・・・・・・	13
③	資料の概要・・・・・・・・・・	14

学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し

ア. 定員充足の見込み

1) 定員設定の考え方

本学看護学科の入学定員は100名（収容定員400名）と設定する。看護学科を設置するスポーツ・健康科学部の既設2学科（スポーツ科学科、健康科学科）の入学定員は、スポーツ科学科が125名（2016年度までは100名）、健康科学科が100名である。本学は、大東文化大学の学生として学士力の基礎となるリベラルアーツを身につけた上で、高度な医療に対応でき、看護師のキャリア発達における職業的アイデンティティの獲得及び継続的な能力開発に努めることができる看護師、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもと、居住地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるようにする地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）を担う看護師の養成に取り組む。看護学科が養成する看護専門職は、厚生労働省がその構築を団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途にしている地域包括ケアシステムにおいて、他職種との連携を促す中心的な役割が期待されている。現在、スポーツ科学科は、スポーツ指導者の育成、スポーツ文化の普及、また、健康科学科は、臨床検査技師養成による教育研究及び健康増進因子の解明、疾病のデータ収集や病態解析の実施による予防医学への貢献、環境づくりの支援などを通して、科学的根拠をベースにした地域密着型の健康づくりを支援している。看護学科は、これら既設学科の学問体系や研究活動との連携を強化し、地域住民を対象としたスポーツ科学科による運動機能維持・増進を目的とした介護予防プログラム、看護学科による健康教育、生活支援プログラム、健康科学科による生理学分野からの効果検証を図ることにより、科学的に裏付けされた健康の回復・維持・増進に向けた健康支援、介護予防支援体制、健康寿命増進へのアプローチの構築を、学部としても目指している。

看護学科の入学定員については、上記目的の達成に資するよう、学科間の連携の上からも既設学科の入学定員とのバランスを考慮し、また、本学看護学科が設置される埼玉県及びその近隣地域（東京都、神奈川県）の私立大学看護師養成学科の入学定員設定の状況も踏まえ、入学定員を100名と設定した（【資料1】）。

「6）本学スポーツ・健康科学部における志願者状況及び入学定員充足率について」に記載の通り、スポーツ・健康科学部既設学科の志願状況から見ても本学の体育・保健医療系の学部への志願者が安定的に多いことや、以下に記載する看護学科を含む全国的な保健医療系学部への受験者動向、本学への志願状況等から考えて、この設定での定員充足は十分に可能であると考えている。

2) 全国及び埼玉県を含む地域の大学進学動向について

全国的な大学進学率は、2016年において52.0%であり、近年はその上昇率が鈍化している。

しかし、本学看護学科を設置する埼玉県の状態をしてみると、大学進学率は全国平均及び南関東の他の地域（東京都、神奈川県、千葉県）と比して低く、今後その上昇の余地があると考えられる（【資料 2-1】）。また、埼玉県の進学率の上昇は女子において著しく（【資料 2-2】）、特に看護学科への志願者は女子が多いことから、今後も埼玉県における一定程度の進学者層が見込まれる。

3) 看護系学部学科の志願者・入学者動向について

「私立大学・短期大学等入学志願動向」（日本私立学校振興・共済事業団）の「主な学部別の志願者・入学者動向（大学）」によると、2012 年度～2016 年度における「看護学部」の志願者倍率は、5.99 倍～6.76 倍であり、安定した一定の倍率を保っている。「看護学部」が含まれている区分「保健系」の他の学部（「医療保健学部」「看護栄養学部」「看護福祉学部」「医療科学部」等）にも看護学科が設置されていることも考慮し、「保健系」区分全体として見ると、その志願倍率は 5.67 倍～6.37 倍で、看護学部単体と同様安定的な倍率が保たれている。また、入学定員充足率は、「看護学部」で 107.67%～113.43%、「保健系」で 104.13%～110.40%であり、いずれも 100%を超えた入学者を確保している（【資料 3】）。

また、リクルートカレッジマネジメント（リクルート進学総研 2016 年）記載の高校生の進路選択プロセスを調査したアンケートで、大学進学希望者の進学を希望する分野における調査結果では、特に理系女子では「看護」分野の希望が 20 分野中第 1 位（2016 年、2013 年）になっている（【資料 4】）ことから、全国的に見た高校生の看護分野への希望が一定程度あるものと考えられる。

4) 競合校における看護学科の志望状況について

本学看護学科と競合すると考えられる 5 大学看護学科の直近 5 年間（2012 年～2016 年、一部の大学においては設置年度の関係から 3 年間）の志願状況は【資料 5】の通りである。この結果によると、5 大学看護学科の年別平均志願倍率は 5.73 倍～6.77 倍と高倍率であり、かつ、毎年 5 倍以上を保っている。また、大学別に見ると、5 年間の平均倍率が最も高い大学は 9.85 倍（目白大学）であるが、最も低い大学においても 4.33 倍（日本医療科学大学）の志願倍率がある。このことから、本学看護学科の近隣地域、同規模の大学看護学科に対しては、平均しての長期的志願者が見込まれると考えられる。

なお、競合校としては、①本学看護学科を設置する埼玉県東松山市との立地関係、②入学定員から見た学科規模、③学生納付金、をベンチマークとして、本学の状況と比較し選定した。

5) 本学全体の志願状況及び入学定員充足率について

本学への入学者は、6 割ほどが埼玉県・東京都出身で（2016 年度計 58.4%）、次いで関東・中部地方出身者が多い（【資料 6】）。入学者全体の約 64.8%が埼玉県・東京都に千葉県・神奈川県を加えた南関東地域出身の学生である。この南関東 4 都県は、出生率低下による人口減少を上回る転入超

過（都市部への集住化）がみられ、総人口が増大し続けている地域である（【資料 7】）。また、同地域の 18 歳人口についても、文部科学省の学校基本調査から推定して 2017 年現在までは微増傾向にある（【資料 8】）。10 年後の 2027 年における 18 歳人口は 2016 年比で 95%程度を維持する見通しであり、全国平均の 87.6%に比べて比較的優位な条件にあり（【資料 9】）、本学の学生出身地の人口基盤は強固であると言える。

また、本学大学全体の直近過去 5 年間（2012 年～2016 年）の志願状況及び定員充足率は【資料 10】の通りであり、各学部の直近 5 年間の平均志願倍率は 4.01 倍～10.37 倍、大学全体の年ごとの平均志願倍率は 6.27 倍～7.05 倍である。いずれも安定した倍率であり、また、入学定員充足率においても概ね 1.1 倍を保っており、定員未充足の学部はない。このことから、本学への安定した志願者の確保が見込まれる。

6) 本学スポーツ・健康科学部における志願状況及び入学定員充足率について

看護学科を設置するスポーツ・健康科学部の直近 5 年間（2012 年～2016 年）の志願状況及び入学定員充足率は、【資料 11】の通りである。スポーツ・健康科学部の過去 5 年間の平均志願倍率は 10.37 倍（スポーツ科学科 15.25 倍、健康科学科は 5.47 倍）で、本学の他学部と比しても高倍率であり、本学の体育・保健医療系学部分野への志願者は多い。また年毎の倍率に大きな変動がないので（スポーツ・健康科学部 9.78 倍～10.92 倍、スポーツ科学科 13.37 倍～16.11 倍、健康科学科 4.61 倍～6.19 倍）、安定的な競争力が保たれていると考えられる。入学定員充足率においても、両学科とも未充足の年はない。

このことから、本学の体育・保健医療系の学部への進学者は安定的に多いと言うことができる。

7) 看護学科設置に関する進学意向調査結果について

外部機関（(株)リクルートマーケティングパートナーズ）に依頼し、本学への進学実績のある高校で、高校訪問（「②学生確保に向けた具体的な取組状況 3.高校訪問の展開」（P10）記載）を通じて高校進路指導教諭と直接面識のある高校や、高校進路指導教諭向けに実施した本学独自進学説明会の参加高校など、特に本学との関係性の強い東京都、埼玉県を中心とした全国 147 校に在籍する開設年度入学生 31,408 人（調査実施時高校 2 年生）を対象に、本学看護学科入学希望に関する進学意向調査を実施した（【資料 12】～【資料 13】）。その結果、高校卒業後に進学を希望する（大学、短期大学、専門学校・各種学校）者のうち、第 1 希望で進学したい学問分野として「看護学」は 1,491 人（回答比率 6.1%）で、進学希望分野の上位（20 分野中第 5 位）となっている（【資料 12】P9 問 5）。また、本学看護学科に「非常に興味を感じる」「興味を感じる」と回答した者は 10,138 人（【資料 12】P12 問 6）、受験し合格をした場合「進学を希望する」「進学先の候補として検討する」と回答した者は 6,071 人であった（【資料 12】P15 問 9）。これを高校卒業後の進路で「大学」を希望し、本学看護学科に「受験してみたい」「受験を検討したい」と回答をした者のうち、合格した場合「進学を希望する」「進学先の候補として検討する」という

回答に絞った場合は2,338人であった（【資料12】P16）。これを「受験してみたい」「受験を検討したい」と回答した者のうち、「進学を希望する」者のみに絞った場合は963人であり（【資料12】P17）、さらに、「受験してみたい」かつ「進学を希望する」という意向調査実施時点において、すでに明確な進学意思を持っている者のみの数に限定した場合でも677人の希望があり（【資料12】P19）、いずれの人数も本学看護学科の入学定員100名を大きく上回る結果となっている。

上記2)～7)から、全国及び本学が所在する埼玉県においては、看護学部及び保健医療系学部への堅調な需要があり、このことは近隣の競合校の状況及び本学看護学科の入学希望に関する進学意向調査においても示されている。本学への入学希望という点においては、大学全体及び看護学科を設置するスポーツ・健康科学部の近年の志願状況、また、看護学科への入学希望の点においては、進学意向調査の結果から、本学看護学科の学生確保の見通しは十分にあると考えられる。

イ. 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

【資料1】 埼玉県、東京都、神奈川県に所在する私立大学看護学科の入学定員一覧(2016年度)
「平成28年度全国大学一覧」及び「文部科学大臣指定（認定）医療関係技術者養成学校一覧（平成28年5月1日現在）」より作成した。

【資料2-1】 南関東地域の大学進学率（全体）及び（女子）

【資料2-2】 全国及び埼玉県を含む南関東地域の大学進学率の動向について、文部科学省「学校基本調査報告書」をもとに作成した。2016年において、全国的な大学進学率52.0%、東京都72.7%、神奈川県54.4%、千葉県53.2%であるが、埼玉県は51.4%であり、近年東京都、神奈川県での進学率の上昇が鈍化しているものの、埼玉県は今後その上昇の余地があると考えられる。また、女子の状況を見ると、全国及び埼玉県においても、近年の女子の進学率の伸びが著しい。

【資料3】 看護学部、保健系区分の志願者・入学者動向

全国的な看護系学部学科の志願動向について、「私立大学・短期大学等入学志願動向」（日本私立学校振興・共済事業団）の平成24（2012）年度～平成28（2016）年度「5. 主な学部別の志願者・入学者動向（大学）」から「看護学部」及び「保健系」区分の状況を抜粋して作成した。なお、志願倍率は、志願者数を入学定員で除し、小数点第3位を四捨五入して算出した。

2012年～2016年における「看護学部」の志願者倍率は、2012年6.37倍、2013年6.76倍、2014年6.21倍、2015年6.20倍、2016年5.99倍であり、「保健系」区分

として見ると、2012年 5.92倍、2013年 6.37倍、2014年 6.09倍、2015年 5.88倍、2016年 5.67倍と高倍率である。

また、入学定員充足率は、「看護学部」で2012年 113.43%、2013年 112.13%、2014年 109.89%、2015年 108.35%、2016年 107.67%、「保健系」区分では2012年 109.80%、2013年 110.40%、2014年 107.85%、2015年 107.61%、2016年 104.13%であり、いずれも100%を超えた入学者を確保している。

【資料 4】 大学進学希望者の進学を希望する分野の調査結果

大学進学希望者の進学を希望する分野の調査結果について、「リクルートカレッジ マネジメント」〔201〕 November-December, 2016（リクルート進学総研）の「進学センサス 2016」「図表 1-2 進学を希望する分野（大学進学者全体／複数回答）」から、「理系・女子」の状況（P8）を記載した。

これは高校生の進路選択プロセスを調査したアンケートであり、理系・女子の進学希望分野において、「看護」分野は20分野中、2016年、2013年が第1位（2016年 29.0%、2013年 24.8%）、2011年が第3位（25.2%）と、いずれも高い順位になっている。

【資料 5】 競合校における志願状況等

本学看護学科の競合校（5大学）の直近5年間（2012年～2016年）の志願状況等について、各大学ホームページ、(株)リクルートマーケティングパートナーズの提供資料より作成した。志願倍率は、志願者数を募集人数で除して算出、大学ごとの平均志願倍率は、大学ごとの各年の志願倍率を年数で除して算出、各年における平均志願倍率は、各年の志願者数の和を募集人数の和で除して算出した。（いずれも小数点第3位を四捨五入。）

資料5 大学の直近5年間の平均志願倍率は、2012年 6.77倍、2013年 6.75倍、2014年 5.73倍、2015年 6.00倍、2016年 5.93倍と高倍率である。また、大学別の5年間平均倍率は、4.44倍（東都医療大学）、5.67倍（西武文理大学）、4.33倍（日本医療科学大学）、9.85倍（目白大学）、6.64倍（東京家政大学、3年間のみ）である。

なお、競合校としては、①本学看護学科を設置する埼玉県東松山市との立地関係、②入学定員から見た学科規模、③学生納付金、をベンチマークとして、本学の状況と比較し選定した。

【資料 6】 本学 2016 年度入学者の出身地（出身高校の所在地）構成

本学 2016 年度入学者の出身地（出身高校の所在地）について、「データで知る大東文化」「都道府県別入学者数」（2016年5月1日現在）より作成した。

入学者 2,988 人のうち、埼玉県出身者が 1,225 人 (41.0%)、東京都出身者が 520 人 (17.4%)、両都県で計 1,745 人 (58.4%) であり、全体の 6 割ほどを占める。千葉県 150 人 (5.0%)、群馬県 128 人 (4.3%)、新潟県 121 人 (4.0%) がそれに続き、関東、中部地方の出身者が多い。

(本学ホームページ : <http://www.daito.ac.jp/information/open/college/data.html>)

【資料 7】 南関東（埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県）人口の推移

南関東（埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県）の人口推移を示したグラフであり、埼玉県提供「都道府県別自然増社会増見える化ツール」をもとに作成した。

ここから、この地域の総人口が増大し続けていることが分かる。

(埼玉県ホームページ :

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0206/toukei-tool/shizensyakai-tool.html>)

【資料 8】 南関東（埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県）における 18 歳人口の推移

南関東（埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県）の 18 歳人口について、文部科学省「学校基本調査」をもとに、当該年の 3 年前の中学校卒業生総数をもって、18 歳人口の近似値として推計した。ここから、この地域の 18 歳人口については、2017 年現在までは微増傾向にあり、その後も大きな変動はないと推定される。

(文部科学省学校基本調査 :

<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/NewList.do?tid=000001011528>)

【資料 9】 18 歳人口変動の将来推計（全国 VS 南関東）

18 歳人口変動の将来推計について、全国と南関東（埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県）を比較したものであり、リクルート進学総研マーケットリポート Vol.37 (2017 年 1 月号) をもとに作成した。10 年後 (2027 年) における 18 歳人口は、全国平均が 2016 年比 87.6% である一方、南関東は同年比 95% を維持する見通しである。

【資料 10】 大学全体における学部別志願状況及び入学定員充足率

本学大学全体の直近 5 年間 (2012 年～2016 年) における学部別志願倍率及び入学定員充足率を記載した。なお、志願倍率は、志願者数を入学定員で除して算出、学部ごとの平均志願倍率は、学部ごとに各年の志願倍率を年数で除して算出、各年における平均志願倍率は、各年の大学全体の志願者数を大学全体の入学定員で除して算出した。入学定員充足率は、入学者数を入学定員で除し算出、学部ごとの平均入学定員充足率は、学部ごとに各年の入学定員充足率を年数で除して算出、各年における平均入学定員充足率は、各年の大学全体の入学者数を大学全体の入学定員で除して算出した。(いずれも小数点第 3 位を四捨五入。)

各学部の直近 5 年間の平均志願倍率は、文学部 6.44 倍、経済学部 8.02 倍、外国語学部 4.39 倍、法学部 6.09 倍、国際関係学部 6.17 倍、経営学部 7.79 倍、環境創造学部 4.01 倍、スポーツ・健康科学部 10.37 倍である。これを年で見ると、大学全体で、2012 年 6.52 倍、2013 年 6.54 倍、2014 年 6.27 倍、2015 年 6.67 倍、2016 年 7.05 倍であり、いずれも安定した志願倍率である。

入学定員充足率においては、学部ごとの平均は、文学部 1.16 倍、経済学部 1.14 倍、外国語学部 1.10 倍、法学部 1.15 倍、国際関係学部 1.15 倍、経営学部 1.14 倍、環境創造学部 1.14 倍、スポーツ・健康科学部 1.18 倍であり、年別では大学全体で、2012 年 1.19 倍、2013 年 1.09 倍、2014 年 1.15 倍、2015 年 1.13 倍、2016 年 1.15 倍と概ね 1.1 倍を保っている。

【資料 11】 スポーツ・健康科学部（スポーツ科学科、健康科学科）の志願状況及び入学定員充足率

本学スポーツ・健康科学部の既設学科（スポーツ科学科、健康科学科）の直近 5 年間（2012 年～2016 年）における学科別志願状況及び入学定員充足率を記載した。なお、志願倍率は、志願者数を入学定員で除して算出、学科ごとの平均志願倍率は、学科ごとに各年の志願倍率を年数で除して算出、各年における平均志願倍率は、各年の志願者数の和を入学定員の和で除して算出した。入学定員充足率は、入学者数を入学定員で除して算出、学科ごとの平均入学定員充足率は、学科ごとに各年の入学定員充足率を年数で除して算出、各年における平均入学定員充足率は、各年の入学者数の和を入学定員の和で除して算出した。（いずれも小数点第 3 位を四捨五入。）

両学科の直近 5 年間の平均志願倍率は、スポーツ科学科 15.25 倍、健康科学科 5.47 倍で、これを年で見ると、両学科平均で 2012 年 9.93 倍、2013 年 10.92 倍、2014 年 10.56 倍、2015 年 10.64 倍、2016 年 9.78 倍であり、いずれも安定し、かつ高志願倍率である。

入学定員充足率においては、両学科の 5 年間平均は、スポーツ科学科 1.22 倍、健康科学科 1.13 倍であり、年では両学科平均で 2012 年 1.26 倍、2013 年 1.11 倍、2014 年 1.13 倍、2015 年 1.13 倍、2016 年 1.25 倍と両学科とも定員未充足の年はない。

【資料 12】 看護学科設置に関する進学意向調査結果

（株）リクルートマーケティングパートナーズに調査を依頼した。調査実施の概要は以下の通りである。

調査時期： 2016 年 9 月～2017 年 1 月

調査対象： 本学に進学実績のある高校で、高校訪問を通じて高校進路指導教諭と直接面識のある高校や高校進路指導教諭向けに実施した本学独自進学説明会の参加高校など、特に本学との関係性の強い東京都、埼玉県を中心とした全国 147 校（高

校名、高校所在地は、【資料 12】 P21 に記載）在籍する開設年度入学生 31,408 人（調査実施時において高校 2 年生）

回答数： 140 校 計 24,400 人（回収率 77.7%）

調査内容・回答： 本学は、2018 年度に看護学科、歴史文化学科、社会学部社会学科を同時に設置予定のため、調査内容・回答も 3 学部学科について記載してある。

進学したい学問分野に関する設問（問 5）では、第 1 希望で「看護学」という回答が 1,491 人（回答比率 6.1%）あり、これは 20 分野中第 5 位である（【資料 12】 P9）。また、本学看護学科に「非常に興味を感じる」「興味を感じる」（問 6）と回答をした者が 10,138 人（回答比率 41.5%）（【資料 12】 P12）、受験し合格した場合、「進学を希望する」「進学先の候補として検討する」と回答した者（問 8～問 9）は 6,071 人であった（【資料 12】 P15）。

これを対象者として「高校 2 年生」（問 3）でかつ「大学進学志望者」（問 4）に絞り、そのうち「受験してみたい」「受験を検討したい」（問 7）を選択し、かつ「進学を希望する」「進学先の候補として検討する」（問 8）、看護学科志望者（問 9）とした場合、2,338 人であった（【資料 12】 P16）。

「高校 2 年生」かつ「大学進学志望者」のうち、「受験してみたい」「受験を検討したい」を選択し、かつ「進学を希望する」看護学科志望者は、963 人（【資料 12】 P17）であり、「受験してみたい」を選択し、かつ「進学を希望する」「進学先の候補として検討する」看護学科志望者とした場合は、927 人（【資料 12】 P18）であった。さらに、「高校 2 年生」かつ「大学進学志望者」のうち、「受験してみたい」を選択し、かつ「進学を希望する」看護学科志望者でも 677 人（【資料 12】 P19）おり、いずれの人数においても、本学看護学科の入学定員 100 名を大きく上回る結果となっている。

【資料 13】 進学意向調査で使用した調査用紙（高校向け）及び回答時の参考資料リーフレット

【資料 12】 で使用した調査用紙（高校向け）及び、回答時の参考資料としたリーフレットである。なお、調査実施時においては、学会について検討中であったため、調査用紙の【参考資料】欄には学会費が含まれていないが、その後学会費（8,000 円）が決定したので、「初年次納付金」「その他」にそれぞれ 8,000 円が加算される。また、調査用紙及びリーフレット中の「入学定員」の記載が「110 名（予定）」となっているが、進学意向調査後、学内検討の結果入学定員を 100 名に変更した。

ウ. 学生納付金の設定の考え方

本学看護学科の学生納付金については、以下の通りである。

- ・ 入学金：250,000 円 ・ 授業料：1,000,000 円 ・ 教育充実費：350,000 円
- ・ 実験実習費：350,000 円
- ・ 諸会費（学生自治会費、安全互助会費、青桐会費、学会費）：25,600 円
- ・ 初年度納付金合計：1,975,600 円（入学金、学会費は初年度のみ。）

入学金については、既設の学部と同一の金額である。授業料は、同じ保健医療系学科である健康科学科とほぼ同額の設定であり（健康科学科 995,000 円）、「4）競合校における看護学科の志望状況について」で示した本学看護学科と競合すると考えられる大学の授業料（2016 年度実績）も考慮した。【資料 5】

② 学生確保に向けた具体的な取組状況

学生確保に向けて、本学が行っている取組状況については以下の通りである。

1. 入試アドバイザー制度の導入

全専任事務職員を2種類の入試アドバイザーとして位置づけている。一つは本学への進学実績の多い高校を中心に高校訪問を行い、進路指導教諭との情報交換などを業務内容とする進路指導教諭担当アドバイザーである。もう一つは、板橋・東松山両キャンパスで行われるオープンキャンパスに設置されるイベントの一つである、個別相談ブースでの対応を業務内容とするオープンキャンパス担当アドバイザーである。

年度当初には、職員の所属部署にかかわらず、業界動向や入試制度、学生生活、キャリア支援など、広範囲にわたる全学的な説明会を開催し、志願者等への対応が適切にできるよう指導している。特に、新人職員には人事研修の一環として徹底した事前研修を実施しており、大学人としての基礎を養成し、即戦力として活用している。

2. オープンキャンパスの実施

毎年、板橋・東松山の両キャンパスにおいて、オープンキャンパスを実施している。具体的な内容としては、大学の沿革や取組の紹介、入試制度の解説、教員による学科別の体験授業、学科教員・入試アドバイザーとの個別相談、国際交流センター職員や留学経験者によるグローバル化に特化したイベント、キャンパス内を実際に歩くことにより大学の雰囲気を体感してもらうキャンパスツアー、本学学生とのフリートークなどである。また、2016 年度においては、マスコミで取り上げられた教員の社会活動や研究内容を紹介する企画を開催して認知を高めた。さらに、推薦入試受験対策相談会、一般入試受験対策相談会を企画し、入試の傾向と対策講座を開催して受験生の支援に取り組んだ。いずれも高校生からは一定の評価を得ており、2016 年度は受験対策相談会、オープンキャンパスを全 7 回実施し、計 9,029 名（高校生：6,339 名、保護者：2,673 名、教員：17 名）の参加があった。

オープンキャンパスの実施においては、在学生在が学生スタッフとして中心的な役割を果たしている。学生スタッフに対しては接客マナー、説明力の強化、プログラムの企画・マネジメントなどに、様々な研修会を実施しており、こうした機会を通して高い水準で来場者対応を担えるスタッフの養成につながっている。本学のオープンキャンパスでは来場者へのアンケートを行っており、集計結果や寄せられるコメントから、学生スタッフの対応が特に好評を得ていることが分かる。

3. 高校訪問の展開

上記1.で述べた入試アドバイザー（進路指導教諭担当）がそれぞれの担当校を訪問し、本学の入試制度をはじめとした詳細な説明を行っている。高校ごとに同一の担当者が繰り返し説明することにより、各高校との信頼関係を築くことができている。現在、東京都・埼玉県を中心に志願者が多く関係性の強い107校について個別の入試アドバイザーを配置しており、それ以外の東海・北陸以東のエリア349校にも入試広報課員が適宜個別に訪問し、本学の情報を提供するとともに、各高校や地域の進学事情などに関する情報収集を精力的に行っている（2016年度〔2017年2月末時点、以下同じ〕実績）。

また、入試アドバイザーや入試広報課員以外にも、各学科において担当教員がそれぞれの学科の事情に即した高校訪問を個別に行っており、その数は96校に達している。年間を通じて訪問した高校数は、延べ753校であった。

4. 進学相談会、キャンパス見学会の実施

予備校、塾を含む各会場で行われる大学合同進学相談会（2016年度実績69会場）や、各高校の進学ガイダンス（2016年度実績189校）において、積極的な募集活動を行っている。特に、各高校での校内ガイダンスについては、進学指導が早期化していることもあり、低学年を対象として大学の紹介、入試概要の説明、学問分野別の解説など、具体的で分かりやすい内容が求められているため、従来の講義型よりも動画や図表を用いて視覚的に理解しやすいように資料を工夫するなど、高校側の進路指導に寄与するよう配慮している。また、高校を会場とした模擬授業（2016年度実績54校）への本学教員の派遣、本学の一般入試受験を念頭においた入試直前講座（2016年度実績8校）を別途開催しており、東京都・埼玉県からの高校からは毎年多くの要請がある。最近では千葉県、群馬県の高校にも拡大している。

高校生及び高校PTAのキャンパス見学会については、要望に応じて随時実施している（2016年度実績42校）。「2. オープンキャンパスの実施」で記述した学生スタッフが学内の案内などを担当しており、特に保護者から高い評価を受けている。また、年間を通して、個人的な見学・進学相談を受け付ける窓口も設けている。

5. 広報媒体の活用

広報活動の媒体としては、大学ホームページ、大学ポートレート、大学独自の広報冊子、各種

広報媒体（テレビ、ラジオ、WEB 動画配信、看板等）を活用している。大学ホームページについては、大幅なりニューアルを行い、パソコン用ページでしか閲覧できなかったものを、スマートフォンでの閲覧にも最適となるよう環境を整備した。また、合格者向けサイトについても全面リニューアルを行い、合格者の手続き率向上のための対策を図った。昨今は、インターネット出願と親和性が高い効果測定が容易なバナー広告などウェブ媒体に、より力を注いでおり、これまで以上にフレキシブルな広告展開を実現している。また、本学の話題を取り上げてもらうべく、マスコミに対するプレスリリースも積極的に配信している。

2015 年度より、キャンパス沿線の東武東上線、都営三田線の大学最寄り駅に、本学のロゴマークを含む大学名称が副駅名として掲出されており、車内放送でも大学名が放送されるなど、地域に密着した大学としての更なる認知度の向上を図っている。

6. ブランド認知の取組

本学にコンタクトのあった高校生、保護者などへのオリジナルグッズの配布やオープンキャンパス時の施設見学を通して、本学附設のピアトリクス・ポター資料館の紹介を行い、本学への親近感を高めている。また、書道研究所主催の「高校生のための書道講座」開催時には、参加した高校生と保護者向けに進学相談の機会を設けている。さらに、高校生を対象とした英語スピーチコンテスト、全国高校生翻訳コンテスト、全国高校新聞コンクールを毎年開催し自己表現の場を提供すると同時に、本学への認知度向上を心掛けている。一方、大学スポーツにおける本学学生の活躍を積極的に応援する体制を作り、学内外に広く周知するとともに、特に高校生アスリートや指導者に好印象となるよう雰囲気作りにも工夫している。卒業生や在学生の保護者向けに「大東文化新聞」を年複数回発行し、学内外に大学の動きをアピールしている。志願者の多い高校、学生の就職先企業及び関係機関に対して本学オリジナル書道カレンダー及びピーターラビット・カレンダーを製作・配布し、本学の認知度向上を図っている。

7. 受験の利便性向上の取組

本学では 2014 年度より全面的なインターネット出願に移行し、併せて入学検定料の割引制度を導入することにより、受験生の出願手続の利便性向上や受験経費に係る負担の軽減を図った。また国公立大学前期日程の併願受験を考慮した入学手続延納制度を採り入れ、地元志向の受験生に配慮している。さらに、経済的理由により進学が困難な受験生に対する入学前の予約型奨学金制度を導入している。これは、出身地域・評定基準を出願時の要件としておらず、家計基準が満たされていれば、当日の試験の成績により奨学金が受けられるという独自の制度であり、受験生の本学への進学意欲を受験本番まで維持し、進学率を高める狙いがある。

8. 募集活動等の検証

資料請求者、進学説明会参加者などの本学へのコンタクトについて、アンケート調査やその後の動きをフォローしながら動向を分析し、広報効果測定を行い、広報媒体の選定を検証するな

ど、広報活動を総合的に点検・評価している。また、予備校の模試受験者の志望アンケートの動向分析、本学入試の志願者分析等から、次年度以降の入試制度の見直しを行っている。

以上、学生確保に向けた様々な組織的取組みについては、今後一層のレベルアップを図りながら継続していく。

（２）人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

本学は、「東西文化を融合して新しい文化の創造を目ざす」という建学の精神に基づき、「東洋固有の文化を尊重し、その伝統的な美徳を身につけて豊かな人格の形成に努め、併せて国際的な視野を持ち、世界の文化の進展と人類の幸福の実現に寄与できる有為な人材を育成することを目指す」ことを教育の理念としている。また、学則第1条において「学問の理論と応用を教授・研究して真理と正義を愛する自主的精神に充ちた良識ある人材を育成し、文化の発展と人類の福祉に貢献すること」を教育研究上の目的として定めている。更に将来基本計画として策定した DAITO VISION 2023 において、この教育の目的とする能力と人格を「大東学士力」と定義し、全ての本学学生が「大東学士力」を身につけるための質の高いリベラルアーツ教育の展開を目指している。

看護学科を設置するスポーツ・健康科学部における教育研究上の目的は「本学の建学精神とその教育理念に基づき、国民の健康維持と増進を視野に、スポーツを通して文化の発展と健康づくりに貢献できる人材の育成、医学・健康関連分野で健康の増進に寄与できる人材の育成を目的とする」と規定しており、スポーツ・健康科学部看護学科における教育研究上の目的を次の通りとする。

看護専門職として自ら主体的に学問を探究し、好奇心に満ちた豊かな人格形成と多文化社会に生きるさまざまな人々への理解を涵養し、住み慣れた地域社会における生活者の健康回復・維持・増進に向けて創造的に活躍するための看護実践能力を発揮できる人材の養成を目的とする。

また、教育研究上の目的から養成する人材像は、次の通りとする。

- ◎地域特性や社会のニーズを把握し、各専門職・関係者との協働・連携を図り、健康課題の査定、地域ケアの構築、看護専門職としての機能・役割が発揮できる実践能力を備えている。
- ◎あらゆる年代の健康レベル、健康課題を有する看護の対象者に対して、理論的知識・研究成果に基づく根拠のある看護を確実に提供できる実践能力を備えている。

② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

厚生労働省が2016年以降の看護職員需給見通しの策定の在り方等を検討するため開催した「看護職員需給見通しに関する検討会」（2015年12月18日）の資料「看護職員確保対策について」の中では、看護師の需要について、「社会保障・税一体改革の試算では、平成37年（2025年）に看護職員が約196万人～約206万人必要とされており、今後、仮に3万人／年のペースで増加しても、約3万人～13万人分のギャップが生じる」（【資料14】）としている。また、「第七次看護職員需給見通しに関する検討会報告書」（2010年12月）（【資料15】）では、2015年時点で約165万人の看護職員の需要に対して、約1.1万人の供給が不足すると見込まれている等の状況が示されている。

本学看護学科の設置予定地である東松山市が所在する埼玉県における状況を見ると、2014年埼玉県の医療施設数は341施設で、全国7位の多さである（【資料16】）一方、同年の看護師就業者数は41,184人であり、人口10万人対人数においても568.9人で全国順位最下位となっている（【資料17】）。また、埼玉県は75歳以上の高齢者人口増加率が全国1位であること（【資料

18)」、県は看護師確保の数値目標を 2012 年度末の約 56,000 人から 2016 年度末には 63,500 人としているが、就業者（約 2,500 人）と再就業者（約 5,700 人）から離職者（約 6,600 人）を差し引いた人数で推計しても、2016 年度末で約 1,100 名の看護職員の不足が予測されている（2014 年 6 月時点）こと（【資料 19】）からも、看護師確保対策の推進やナースセンターによる再就業等の支援などにより、積極的に看護師不足対策を推進しているものの、今後も埼玉県における看護職員の需要は続くものと考えられる。

また、看護学科の実習受け入れ先及びその他、埼玉県内を中心とした医療機関（埼玉県 58 施設、東京都 1 施設 計 59 施設）に実施した採用意向調査結果によると、「平成 28 年 9 月 1 日現在の貴施設における看護師の充足状況について」という設問に対して「大きく不足している」「やや不足している」という回答が全体の 32 施設（54.2%）と過半数を超えた結果となっている（【資料 20】P8 問 4）。

これまでの病院等医療機関における医療から、地域医療、在宅医療が重視されていく中で、本学看護学科が目指す養成する人材像「地域特性や社会のニーズを把握し、各専門職・関係者との協働・連携を図り、健康課題の査定、地域ケアの構築、看護専門職としての機能・役割が発揮できる実践能力を備えている」ことは、特に看護職員の不足が課題となっている埼玉県の社会的、地域的な人材需要に応じたものであると考える。

また、看護学科を設置する東松山市及び周辺の医療機関からも、本学看護学科設置に向けた強い要望が出されている（【資料 22】）。

地域に根ざす大学としての取組みは、「ア. 定員充足の見込み 1) 定員設定の考え方」(P1) にも記載した通り、看護学科を設置するスポーツ・健康科学部の既設学科であるスポーツ科学科、健康科学科においても、スポーツ指導者の育成、スポーツ文化の普及、臨床検査技師養成による教育研究及び健康増進因子の解明、疾病のデータ収集や病態解析の実施による予防医学への貢献、環境づくりの支援などを行っており、看護学科を設置することで更なる地域貢献ができるものと考ええる。

前述した医療機関へのアンケートでは、本学で看護学科を設置した場合の採用について、「採用したい」「採用を検討したい」と回答した医療機関が 41 機関（全体の 69.5%）あり、その採用人数は、少なく見積もっても 125 人以上で、これは入学定員を超えたニーズである（【資料 20】問 7）。

③ 資料の概要

【資料 14】 2016 年以降の看護職員需給見通しの策定の在り方等を検討した「第 2 回看護職員需給見通しに関する検討会」（第 2 回 2015 年 12 月 18 日開催）資料である「看護職員需給見通しの今後の進め方について（案）」（資料 1）（厚生労働省）の P2「2. 看護職員確保対策について」より抜粋した。

【資料 15】 2011 年から 2015 年までの看護職員需給見通しをとりまとめた「第七次看護職員需給

見通しに関する検討会報告書」(厚生労働省 平成 22 年 12 月 21 日)中、「参考 第七次看護職員需給見通し」の「平成 27 年 需給見通しと供給見通しの差」をもとに記載した。

【資料 16】 「平成 26 年度埼玉県保健統計年報 統計資料 (第 2 章医療統計)」の「第 2 - 1 表 医療施設数 (都道府県別)」をもとに記載した。

【資料 17】 「平成 26 年度埼玉県保健統計年報 統計資料 (第 2 章医療統計)」の「第 2 - 45 表 就業保健師、助産師、看護師、准看護師、歯科衛生士、歯科技工士数 (都道府県別)」から、「就業保健師、助産師、看護師」の部分を抜粋し、それをもとに記載した。

【資料 18】 都市部での高齢者に対するサービス提供の方法や地方での都市部高齢者の受け入れなどについて高齢者のニーズに応じた対策を検討した「都市部の高齢化対策に関する検討会」(第 1 回 2013 年 5 月 20 日開催)資料である「都市部の高齢化対策の現状」(厚生労働省老健局)の P5～P6「今後急速に高齢化が進む都市部 (その 2) ～ (その 3)」をもとに記載した。

【資料 19】 埼玉県保健医療部医療整備課が作成した資料「平成 26 年度埼玉県における看護人材の現状と課題」(2014 年 6 月 10 日)の P10 をもとに記載した。

【資料 20】 看護学科設置に関する採用意向調査結果
(株)リクルートマーケティングパートナーズに調査を依頼した。調査実施の概要は以下の通りである。

[医療機関向けアンケート]

調査時期： 2016 年 10 月～2016 年 11 月

調査対象： 看護学科の実習受け入れ (予定) 先及びその他の埼玉県内を中心とした
医療機関全 196 機関

回答数： 59 機関 (回収率 30.1%)

調査内容・回答： 資料の通り

【資料 21】 【資料 20】 で使用した調査用紙 (医療機関向け)。また、回答時の参考資料としたリーフレット) は、【資料 13】 と同一である。

【資料 22】 本学看護学科設置に関する東松山市及び周辺の医療機関からの要望書
①東松山市立市民病院

- ②公益社団法人 東松山医師会
- ③森田光一東松山市長
- ④独立行政法人国立病院機構 埼玉病院

資料目次

- 【資料1】 埼玉県、東京都、神奈川県に所在する私立大学看護学科の入学定員一覧(2016年度)
- 【資料2-1】 図表 南関東地域の大学進学率
- 【資料2-2】 図表 南関東地域の大学進学率(女子)
- 【資料3】 看護学部、保健系区分の志願者・入学者動向
- 【資料4】 『リクルート カレッジマネジメント 201 / November.-December.2016』より
「進学を希望する分野 (大学進学者全体／複数回答)
- 【資料5】 競合校における志願状況等
- 【資料6】 本学2016年度入学者の出身地(出身高校の所在地)構成
- 【資料7】 南関東(埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県)の人口推移
- 【資料8】 南関東(埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県)における18歳人口の推移
- 【資料9】 18歳人口変動の将来推計：全国VS南関東
- 【資料10】 大学全体における学部別志願状況及び入学定員充足率
- 【資料11】 スポーツ・健康科学部(スポーツ科学科、健康科学科)の志願状況及び入学定員充足率
- 【資料12】 看護学科設置に関する進学意向調査結果
- 【資料13】 アンケート用紙(進学意向調査)、回答時参考資料(リーフレット)
- 【資料14】 「看護職員需給見通しの今後の進め方について(案)」
- 【資料15】 「第七次看護職員需給見通しに関する検討会報告書」
- 【資料16】 平成26年度埼玉県保健統計年報 統計資料(第2章医療統計) 「第2-1表」
- 【資料17】 平成26年度埼玉県保健統計年報 統計資料(第2章医療統計) 「第2-45表」
- 【資料18】 「都市部の高齢化対策の現状」
- 【資料19】 「埼玉県における看護人材の現状と課題」
- 【資料20】 看護学科設置に関する採用意向調査結果
- 【資料21】 採用意向調査で使用した調査用紙(医療機関向け)
- 【資料22】 看護学科設置に関する要望書
 - ①東松山市立市民病院
 - ②公益社団法人 東松山医師会
 - ③東松山市長
 - ④独立行政法人国立病院機構 埼玉病院

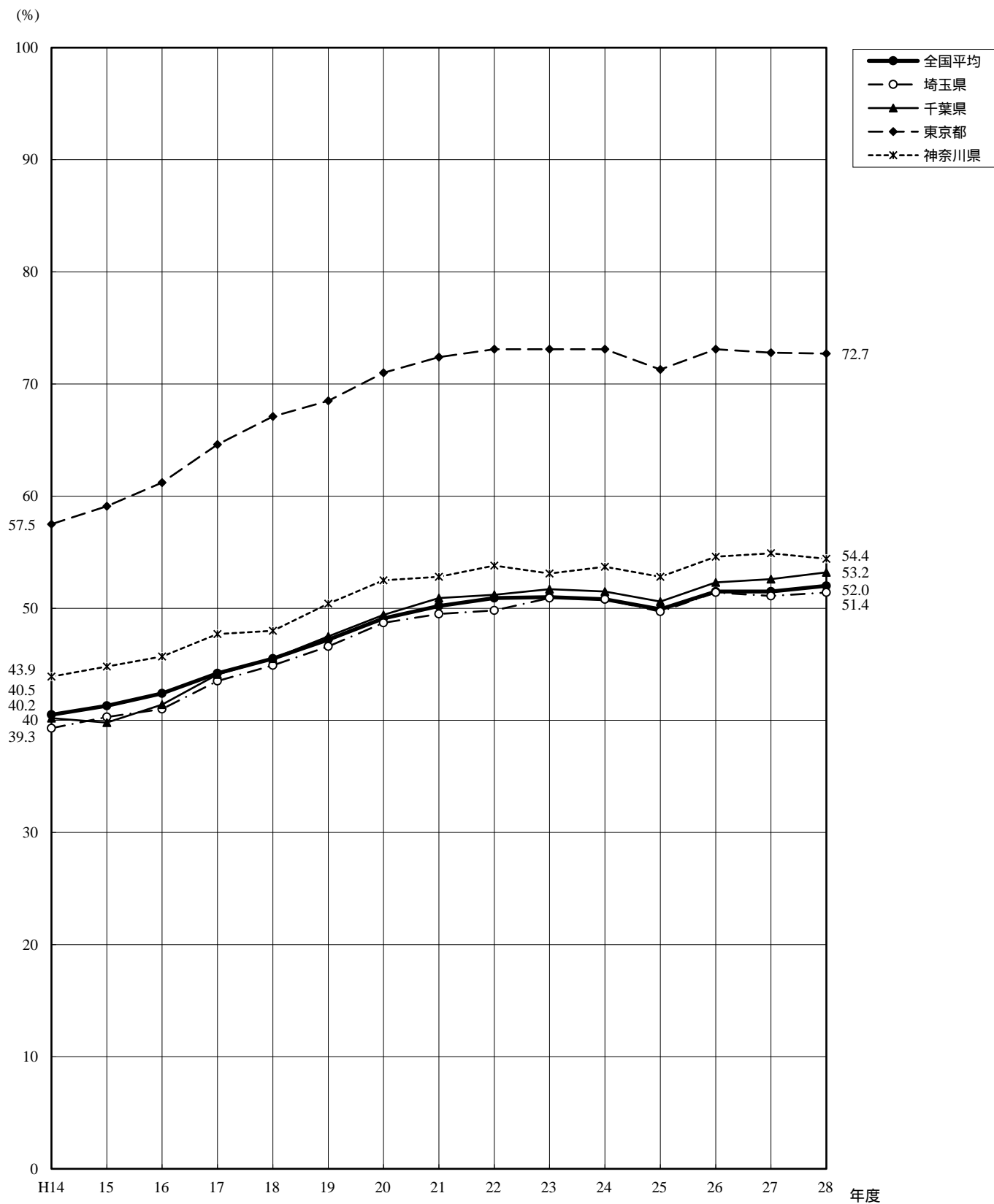
【資料1】埼玉県、東京都、神奈川県に所在する私立大学看護学科の入学定員一覧(2016年度)

所在	大学名	学部名	学科名	入学定員	編入2年昼	編入3年昼	設置年度
埼玉県	埼玉医科大学	保健医療学部	看護学科	80		10	H17.12.5
埼玉県	西武文理大学	看護学部	看護学科	80			H20.12.24
埼玉県	東都医療大学	ヒューマンケア学部	看護学科	100			H20.10.31
埼玉県	日本医療科学大学	保健医療学部	看護学科	80			H24.4.1
埼玉県	日本保健医療大学	保健医療学部	看護学科	100			H21.10.30
埼玉県	人間総合科学大学	保健医療学部	看護学科	80			H22.10.29
埼玉県	東京家政大学	看護学部	看護学科	100			H25.10.31
埼玉県	目白大学	看護学部	看護学科	100			H18.4.1
東京都	共立女子大学	看護学部	看護学科	100			H24.11.8
東京都	杏林大学	保健学部	看護学科	140			H5.12.21
東京都	上智大学	総合人間科学部	看護学科	70			H23.4.1
東京都	聖路加国際大学	看護学部	看護学科	75	20		S56
東京都	創価大学	看護学部	看護学科	80			H24.12.18
東京都	帝京大学	医療技術学部	看護学科	130			H17.4.1
東京都	帝京科学大学	医療科学部	看護学科	80			H24.4.1
東京都	帝京平成大学	ヒューマンケア学部	看護学科	119		2	H16.4.1
東京都	東京有明医療大学	看護学部	看護学科	50			H20.10.31
東京都	東京医科大学	医学部	看護学科	80			H24.11.8
東京都	東京医療学院大学	保健医療学部	看護学科	80			H28.4.1
東京都	東京医療保健大学	医療保健学部	看護学科	100			H16.11.30
東京都	東京医療保健大学	東が丘・立川看護学部	看護学科	200			H26
東京都	東京工科大学	医療保健学部	看護学科	120			H21.10.30
東京都	東京慈恵会医科大学	医学部	看護学科	60			H3.12.20
東京都	東京純心大学	看護学部	看護学科	60			H27.4.1
東京都	東京女子医科大学	看護学部	看護学科	90			H9.12.19
東京都	東邦大学	看護学部	看護学科	102			H23.4.1
東京都	日本赤十字看護大学	看護学部	看護学科	130		10	S61.2.3
東京都	武蔵野大学	看護学部	看護学科	120			H17.12.5
東京都	文京学院大学	保健医療技術学部	看護学科	100			H26.4.1
神奈川県	国際医療福祉大学	小田原保健医療学部	看護学科	80			H18.4.1
神奈川県	北里大学	看護学部	看護学科	100	10		S62.12.23
神奈川県	慶應義塾大学	看護医療学部	看護学科	100	5		H12.12.21
神奈川県	昭和大学	保健医療学部	看護学科	95		10	H13.12.20
神奈川県	神奈川工科大学	看護学部	看護学科	80			H26.10.31
神奈川県	関東学院大学	看護学部	看護学科	80			H25.4.1
神奈川県	松蔭大学	看護学部	看護学科	100			H27.4.1
神奈川県	湘南医療大学	保健医療学部	看護学科	80			H26.10.31
神奈川県	東海大学	健康科学部	看護学科	75		20	H6.12.21
神奈川県	横浜創英大学	看護学部	看護学科	80			H23.10.24

注) は女子のみの大学

資料:平成28年度全国大学一覧、文部科学大臣指定(認定)医療関係技術者養成学校一覧(平成28年5月1日現在)

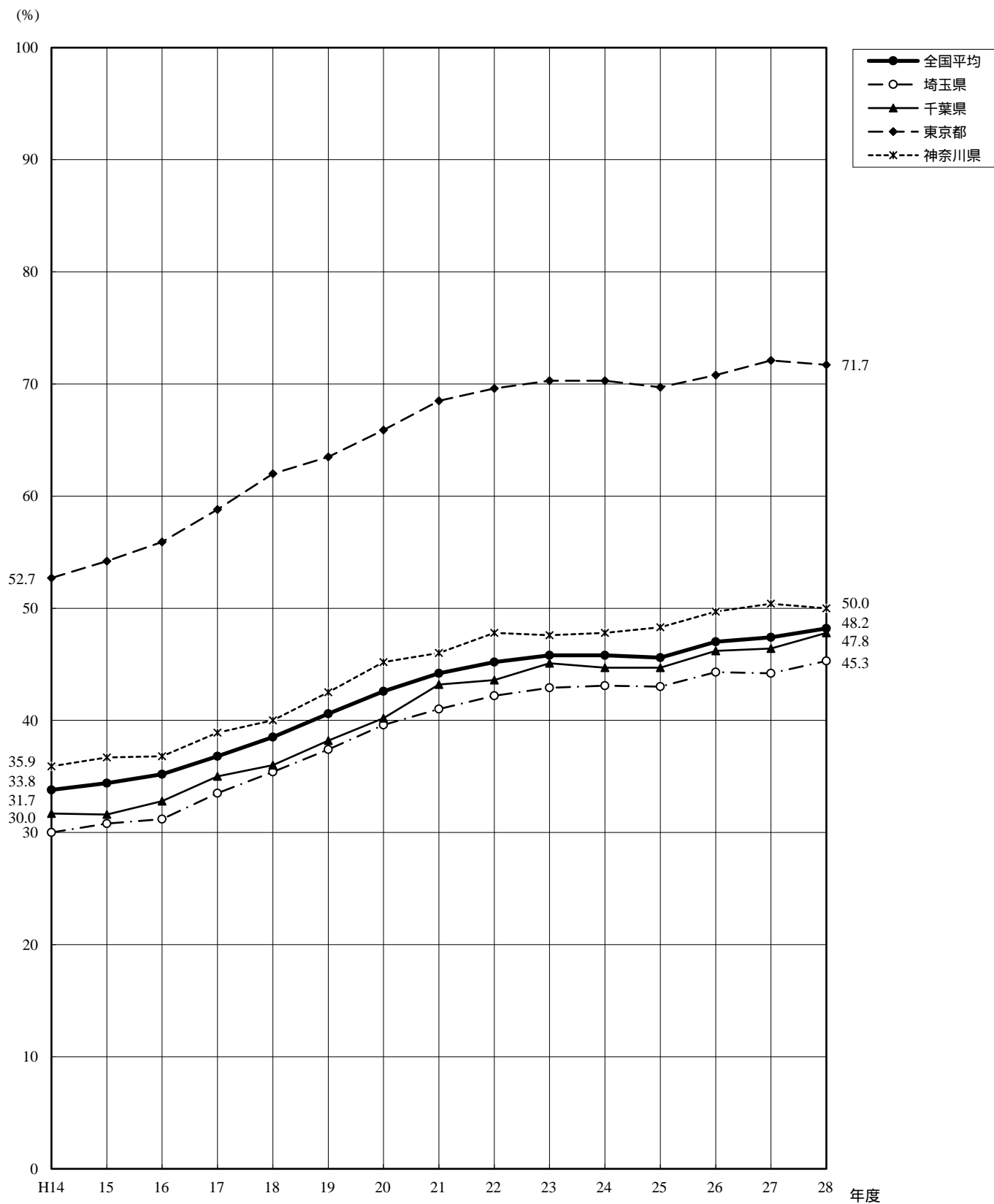
【資料2-1】 図表 南関東地域の大学進学率



大学進学率(%) = 大学進学者数(過年度高卒者を含む) / 18歳人口 × 100

資料: 「学校基本調査報告書」(文部科学省)

【資料2-2】 図表 南関東地域の大学進学率（女子）



大学進学率(女子)(%) = 大学進学者数(女子) (過年度高卒者を含む) / 18歳人口(女子) × 100

資料：「学校基本調査報告書」（文部科学省）

【資料3】看護学部、保健系区分の志願者・入学者動向

学部 区分	志願者数（上段:人）／入学定員（下段:人）					志願倍率（倍）					入学者数（上段:人）／入学定員充足率（下段:%）				
	2012	2013	2014	2015	2016	2012	2013	2014	2015	2016	2012	2013	2014	2015	2016
看護学部	31,250	35,827	37,965	44,257	44,462	6.37	6.76	6.21	6.20	5.99	5,566	5,945	6,722	7,738	7,997
	4,907	5,302	6,117	7,142	7,427						113.43	112.13	109.89	108.35	107.67
保健系	138,556	157,627	164,659	170,602	172,040	5.92	6.37	6.09	5.88	5.67	25,708	27,307	29,156	31,206	31,584
	23,414	24,734	27,033	28,998	30,330						109.80	110.40	107.85	107.61	104.13

※「私立大学・短期大学等入学志願動向」（日本私立学校振興・共済事業団）平成24（2012）年度～平成28（2016）年度「5. 主な学部別の志願者・入学者動向（大学）」から「看護学部」及び「保健系」区分を抜粋

カレッジマネジメント 201

カレッジマネジメントのバックナンバー・WEB限定 月次特集はこちらから **カレッジマネジメント** 検索



特集 進学セミナース 2016

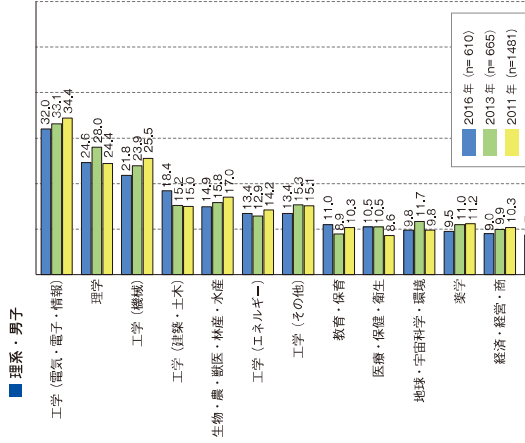
第2特集
3つのポリシーの具現化
新連載
大学入試は、企業の採用面接から何を学べるか①



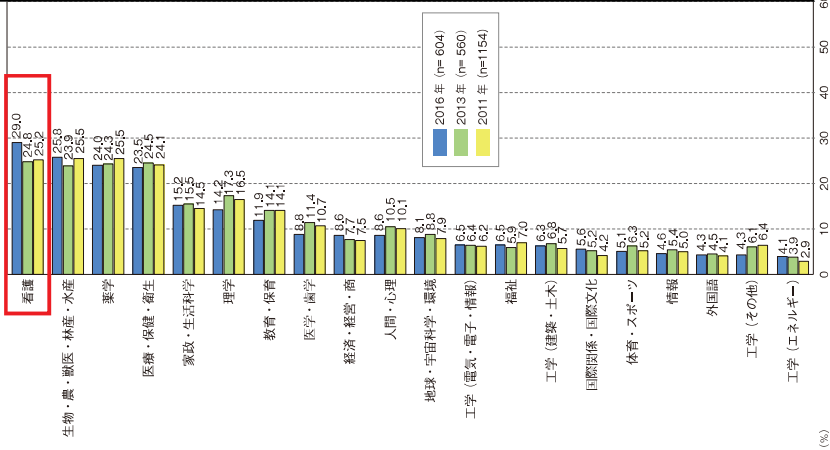
の影響で、参加する学校を決める際には、自分の関心のある分野を考え、その分野を学べる学校を探するという授業が実施されるためである。その結果、秋には半数の高校生が「第一志望」に関心を持つ。学校の詳細比較のために資料請求も実施される。

この時期にはまだ情報も混じっていた志望校検討が、一気に現実味を帯びる。

図表 1-2 進学を希望する分野 (大学進学者全体 / 複数回答)



■ 理系・女子



びるのが高校3年以降である。進路希望調査が実施され、4月の模試の結果が返却されると、志望校は具体化、部活引退で受験モードになる高校生は、夏にかけて意識を高め、7月に半数が受験校決定。それによって併願校検討も開始される。そして秋の模試の結果を考慮に入れて、12月に半数が併願校を決定するという流れだ。

ポイントとしては、①全体的にピークとなるのは高3以降だが、高2からも動き始めているため、早期広報の必要性があること ②受験校決定、併願校検討共に高校3年の夏に実施されるため、そこまで校名を認知してもらわないといけないというところだ。

図表にはないが、全体的に男子より女子、多様校より進学校の高校の

【資料4】『リクルート カレッジマネジメント 201 / November.- December.2016』より「進学を希望する分野 (大学進学者全体 / 複数回答)」

【資料5】競合校における志願状況等

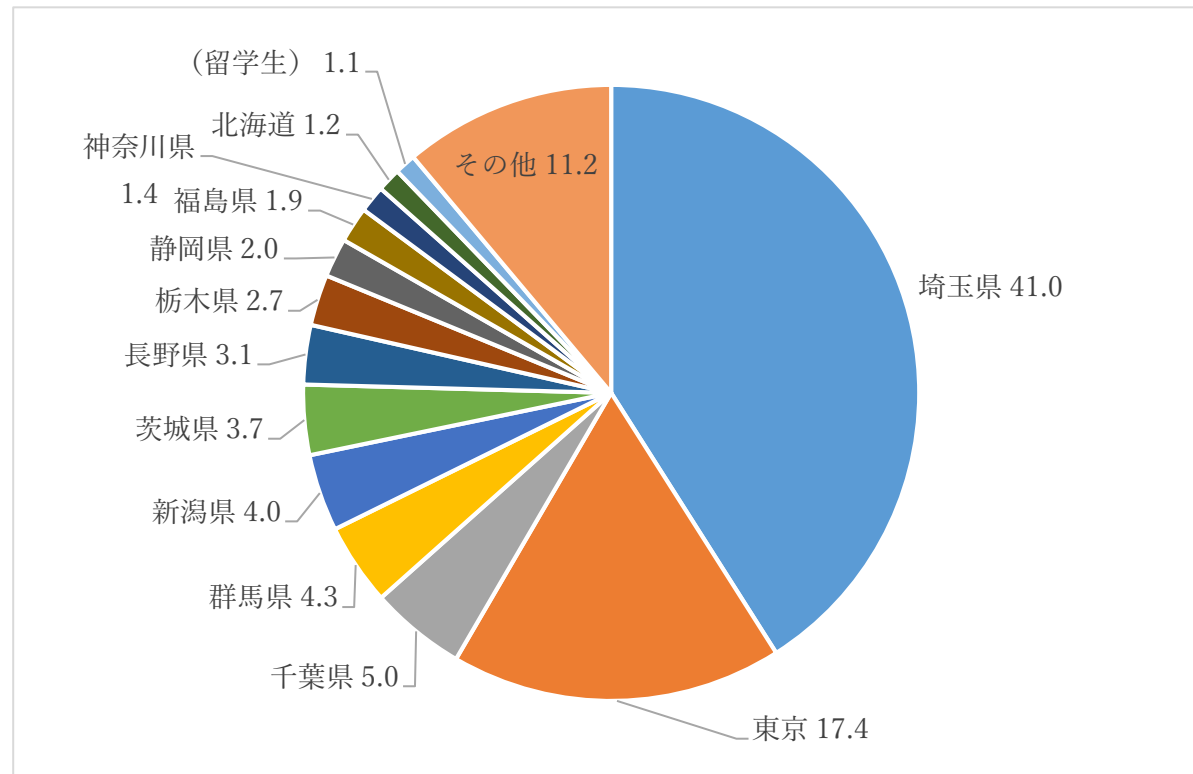
大学	学部学科	募集人数					志願者数					志願倍率					
		2012	2013	2014	2015	2016	2012	2013	2014	2015	2016	2012	2013	2014	2015	2016	平均
東都医療大学	ヒューマンケア学部 看護学科	100	98	98	98	98	415	456	439	422	452	4.15	4.65	4.48	4.31	4.61	4.44
西武文理大学	看護学部 看護学科	77	77	77	78	78	524	477	462	412	316	6.81	6.19	6.00	5.28	4.05	5.67
日本医療科学大学	保健医療学部 看護学科	80	80	80	80	80	379	360	340	365	289	4.74	4.50	4.25	4.56	3.61	4.33
目白大学	看護学部 看護学科	80	100	100	100	100	965	1,104	873	879	863	12.06	11.04	8.73	8.79	8.63	9.85
東京家政大学	看護学部 看護学科	—	—	66	69	72	—	—	298	472	616	—	—	4.52	6.84	8.56	6.64
全体		337	355	421	425	428	2,283	2,397	2,412	2,550	2,536	6.77	6.75	5.73	6.00	5.93	

※ 競合校としての妥当性及び学生納付金の設定の考え方に関する資料（学科所在地、学科入学定員、2016年度学生納付金）

大学	学部学科	学科所在地	学科入学定員	入学金	授業料	その他	初年度納付金
東都医療大学	ヒューマンケア学部 看護学科	埼玉県 深谷市	100	250,000 円	900,000 円	609,370 円	1,759,370 円
西武文理大学	看護学部 看護学科	埼玉県 狭山市	80	300,000 円	1,000,000 円	635,000 円	1,935,000 円
日本医療科学大学	保健医療学部 看護学科	埼玉県 毛呂山町	80	300,000 円	800,000 円	756,000 円	1,856,000 円
目白大学	看護学部 看護学科	埼玉県 さいたま市	100	250,000 円	1,130,000 円	509,500 円	1,889,500 円
東京家政大学	看護学部 看護学科	埼玉県 狭山市	100	300,000 円	1,000,000 円	577,500 円	1,877,500 円
大東文化大学	スポーツ・健康科学部 看護学科	埼玉県 東松山市	100	250,000 円	1,000,000 円	725,600 円	1,975,600 円

※ 各大学ホームページ、(株)リクルートマーケティングパートナーズの提供資料より作成

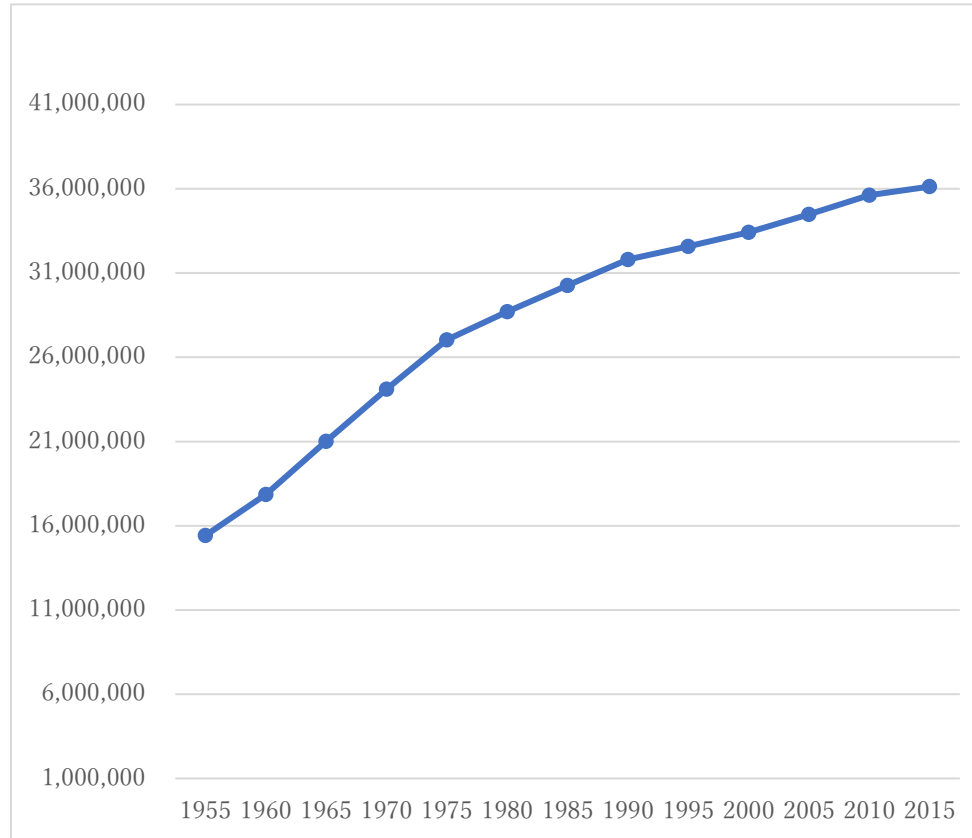
【資料6】本学 2016 年度入学者の出身地（出身高校の所在地）構成（%）



※ 本学ホームページ「データで知る大東文化」の「都道府県別入学者数」より作成

【資料7】南関東（埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県）の人口推移

(人)

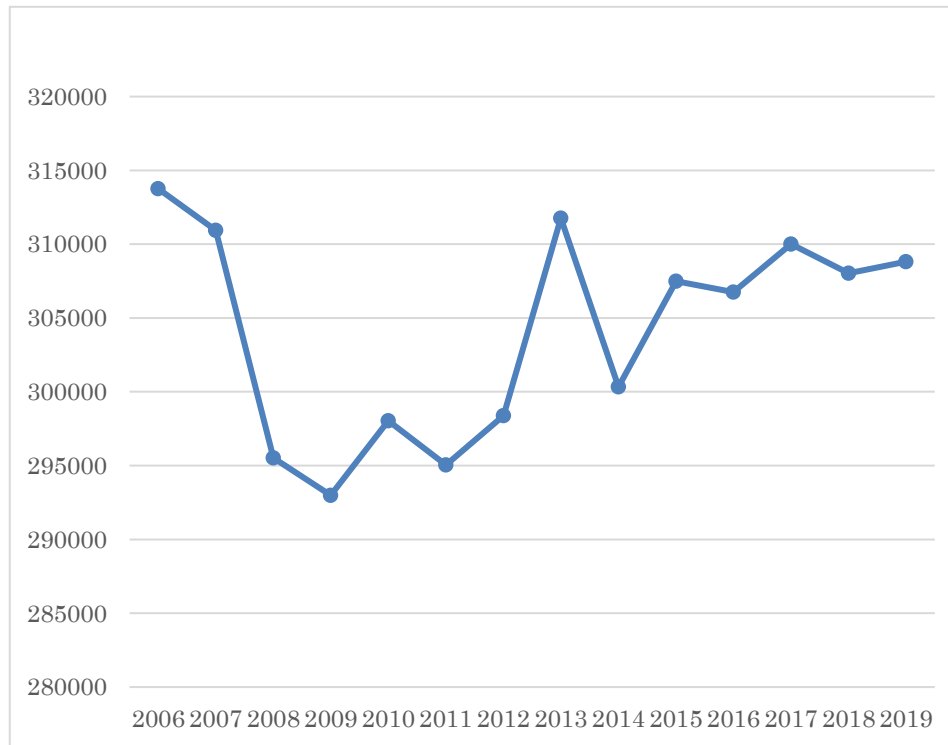


(年)

※ 埼玉県ホームページ「都道府県別自然増社会増見える化ツール」をもとに作成

【資料8】南関東（埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県）における18歳人口の推移

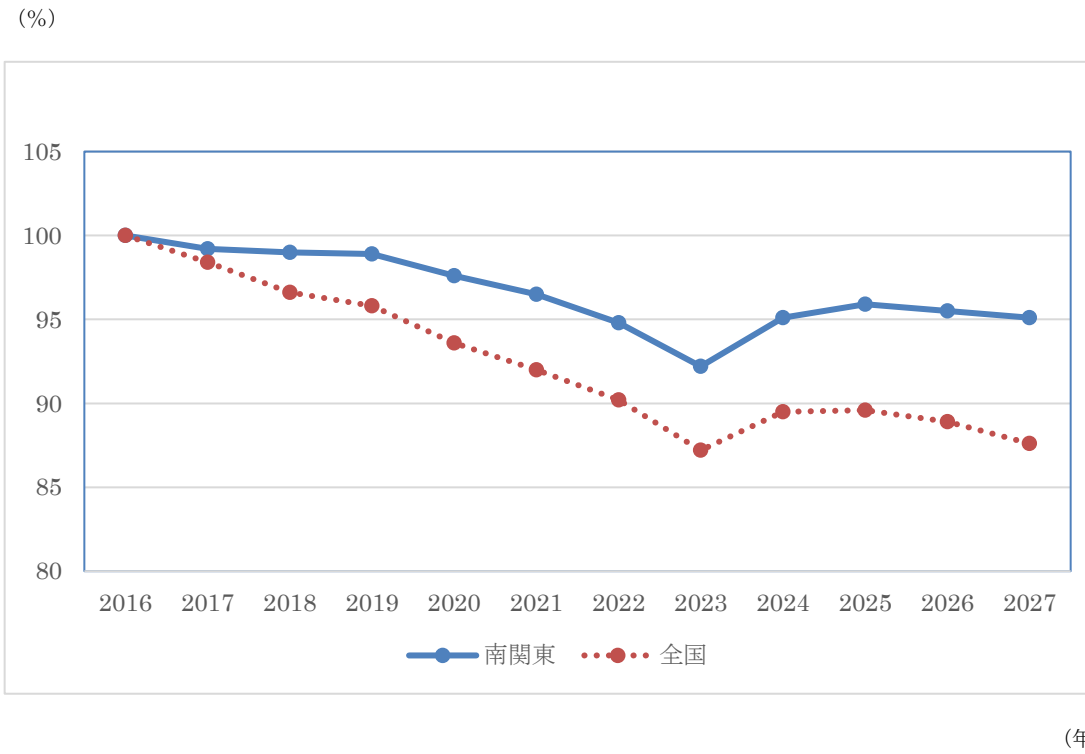
(人)



(年)

※ 文部科学省「学校基本調査」をもとに推計

【資料9】18歳人口変動の将来推計：全国 VS 南関東



※ リクルート進学総研マーケットレポート Vol.37 (2017年1月号) をもとに作成

【資料10】大学全体における学部別志願状況及び入学定員充足率

学部名	入学定員	志願者数					志願倍率					
		2012	2013	2014	2015	2016	2012	2013	2014	2015	2016	平均
文学部	550	3,683	3,750	3,205	3,675	3,403	6.70	6.82	5.83	6.68	6.19	6.44
経済学部	360	2,768	2,470	2,719	2,923	3,554	7.69	6.86	7.55	8.12	9.87	8.02
外国語学部	390	1,646	1,731	1,545	1,659	1,975	4.22	4.44	3.96	4.25	5.06	4.39
法学部	375	2,206	2,147	2,065	2,359	2,644	5.88	5.73	5.51	6.29	7.05	6.09
国際関係学部	200	1,331	1,052	1,124	1,187	1,471	6.66	5.26	5.62	5.94	7.36	6.17
経営学部	350	2,707	3,113	2,712	2,667	2,440	7.73	8.89	7.75	7.62	6.97	7.79
環境創造学部	165	570	500	750	669	820	3.45	3.03	4.55	4.05	4.97	4.01
スポーツ・健康科学部	200	1,985	2,184	2,111	2,127	1,956	9.93	10.92	10.56	10.64	9.78	10.37
全体	2,590	16,896	16,947	16,231	17,266	18,263	6.52	6.54	6.27	6.67	7.05	

学部名	入学定員	入学者数					入学定員充足率					
		2012	2013	2014	2015	2016	2012	2013	2014	2015	2016	平均
文学部	550	691	624	631	593	650	1.26	1.13	1.15	1.08	1.18	1.16
経済学部	360	412	409	412	420	392	1.14	1.14	1.14	1.17	1.09	1.14
外国語学部	390	438	428	418	432	437	1.12	1.10	1.07	1.11	1.12	1.10
法学部	375	441	386	473	420	432	1.18	1.03	1.26	1.12	1.15	1.15
国際関係学部	200	242	205	234	234	237	1.21	1.03	1.17	1.17	1.19	1.15
経営学部	350	404	389	406	407	394	1.15	1.11	1.16	1.16	1.13	1.14
環境創造学部	165	191	170	184	195	196	1.16	1.03	1.12	1.18	1.19	1.14
スポーツ・健康科学部	200	251	222	225	226	250	1.26	1.11	1.13	1.13	1.25	1.18
全体	2,590	3,070	2,833	2,983	2,927	2,988	1.19	1.09	1.15	1.13	1.15	

※ 上記入学定員は2016年度までのもの。

【資料11】 スポーツ・健康科学部（スポーツ科学科、健康科学科）の志願状況及び入学定員充足率

学科名	入学定員	志願者数					志願倍率					
		2012	2013	2014	2015	2016	2012	2013	2014	2015	2016	平均
スポーツ科学科	100	1,524	1,611	1,547	1,607	1,337	15.24	16.11	15.47	16.07	13.37	15.25
健康科学科	100	461	573	564	520	619	4.61	5.73	5.64	5.20	6.19	5.47
スポーツ・健康科学部	200	1,985	2,184	2,111	2,127	1,956	9.93	10.92	10.56	10.64	9.78	

学科名	入学定員	入学者数					入学定員充足率					
		2012	2013	2014	2015	2016	2012	2013	2014	2015	2016	平均
スポーツ科学科	100	123	115	116	115	140	1.23	1.15	1.16	1.15	1.40	1.22
健康科学科	100	128	107	109	111	110	1.28	1.07	1.09	1.11	1.10	1.13
スポーツ・健康科学部	200	251	222	225	226	250	1.26	1.11	1.13	1.13	1.25	

※ スポーツ科学科は、2017年度より入学定員を125名に変更。

大東文化大学 御中

**< 新学部新学科設置に関するアンケート調査 >
最終集計結果のご報告
看護学科 進学意向調査**

< 2017/1/11 (水) 時点集計分 >

高校 ; 140校分 (24,400人)

2017年3月17日

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ

株式会社リクルートコミュニケーションズ

0. はじめに

- 本資料は、2017/1/11（木）時点におけるアンケート回収・集計結果をまとめた報告書となります。
- アンケートの回収状況は、77.7%となっております。
（詳細については次頁以降参照）
- 最終的な集計結果は以下のようになっております。需要性という観点においては十分な量の「進学意向」が確保されました。

	定員数（予定）	「非常に興味を感じる」、 「興味を感じる」と 答えた高校生	「進学したい」と 答えた高校生
看護学科	110人	10,138人	6,071人

<はじめに>

アンケート発送枚数・回収（集計）済み枚数

<アンケート発送枚数・回収（集計）済み枚数>

(1/11 (木) 時点回収分までを集計)

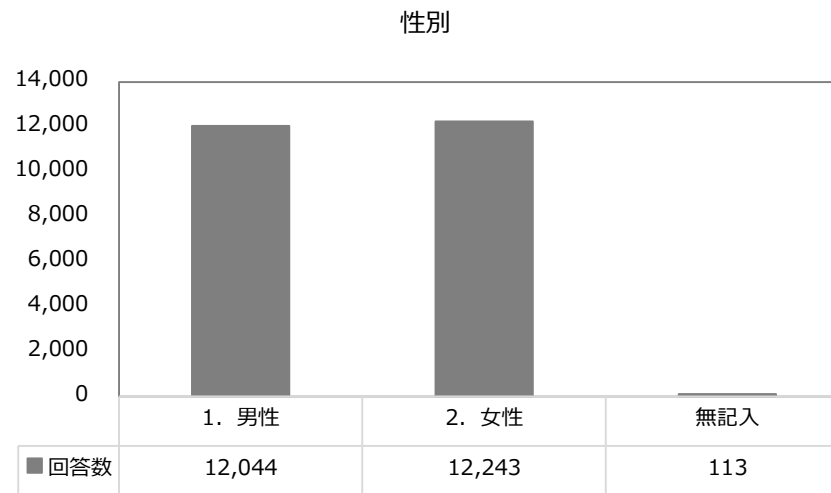
	アンケート発送枚数	回収（集計）済み枚数	回収率（%）
高校	31,408人 (147校)	24,400人 (140校)	77.7%

1. 高校向けアンケート 集計結果

女子が僅かに多く、男子12,044人 (49.4%)、女子12,243人 (50.2%)、不明113人 (0.5%)

問1. あなたの性別についておたずねします。

	回答数	比率
1. 男性	12,044	49.4%
2. 女性	12,243	50.2%
無記入	113	0.5%
合計	24,400	100.0%



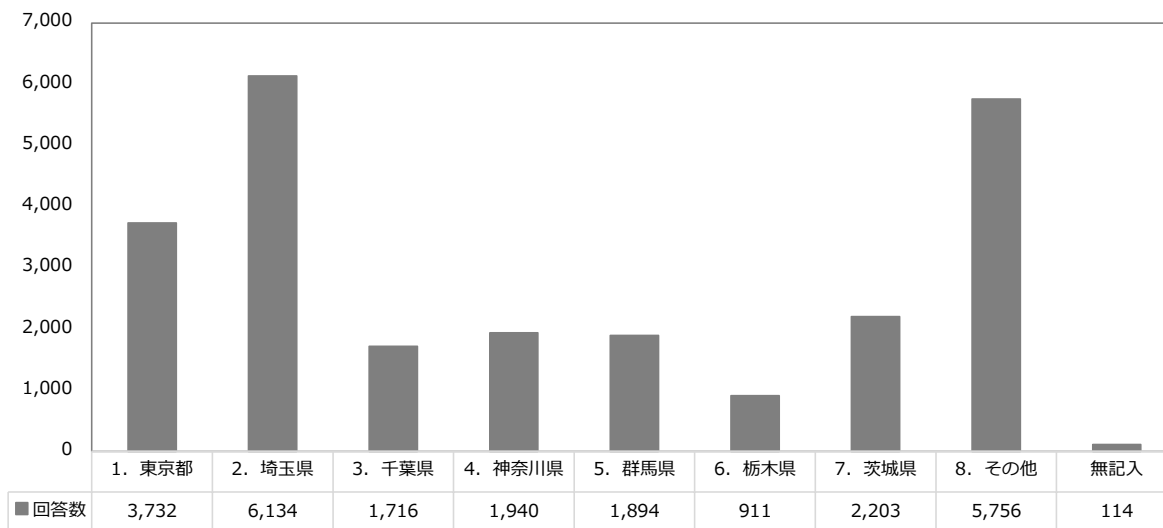
※無記入には、選択肢に無い番号なども含まれます

埼玉県 (6,134人)、次いで東京都 (3,732人) からの回答が多い

問2. あなたのお住まいの都道府県はどちらですか。

	回答数	比率
1. 東京都	3,732	15.3%
2. 埼玉県	6,134	25.1%
3. 千葉県	1,716	7.0%
4. 神奈川県	1,940	8.0%
5. 群馬県	1,894	7.8%
6. 栃木県	911	3.7%
7. 茨城県	2,203	9.0%
8. その他	5,756	23.6%
無記入	114	0.5%
合計	24,400	100.0%

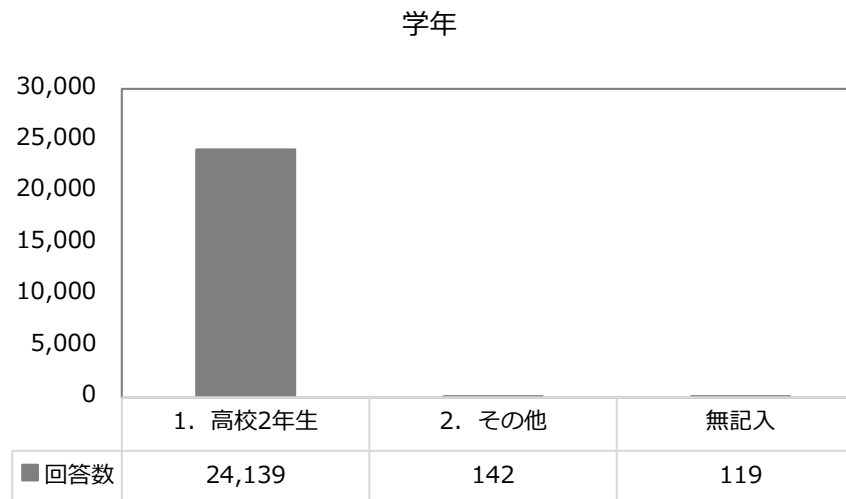
在住都道府県



本アンケートの対象は高校2年生であり、24,139人分の回答が集まった

問3. あなたの学年についておたずねします。

	回答数	比率
1. 高校2年生	24,139	98.9%
2. その他	142	0.6%
無記入	119	0.5%
合計	24,400	100.0%

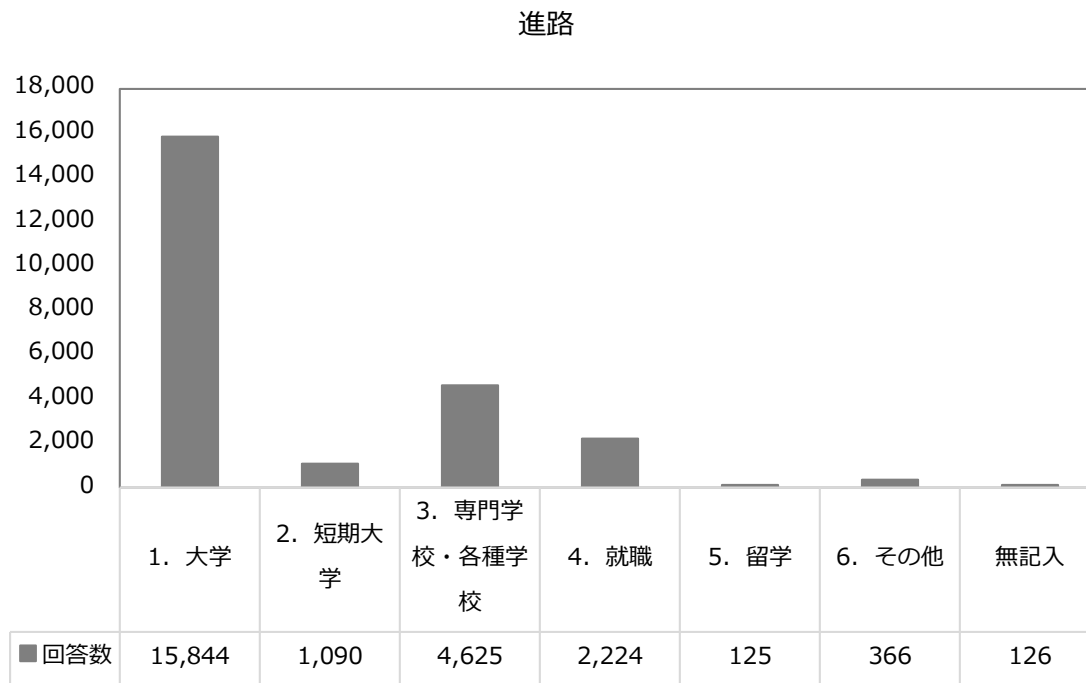


大学進学志望者が15,844人と最も多い

問4. あなたの進路についておたずねします。

あなたは高校卒業後どのような進路を希望していますか。次の中からもっとも希望に近い進路を1つだけ選んでください。

	回答数	比率
1. 大学	15,844	64.9%
2. 短期大学	1,090	4.5%
3. 専門学校・各種学校	4,625	19.0%
4. 就職	2,224	9.1%
5. 留学	125	0.5%
6. その他	366	1.5%
無記入	126	0.5%
合計	24,400	100.0%



第1希望では「教育・保育・福祉学」と「経済・経営・商学」が上位2分野となっている

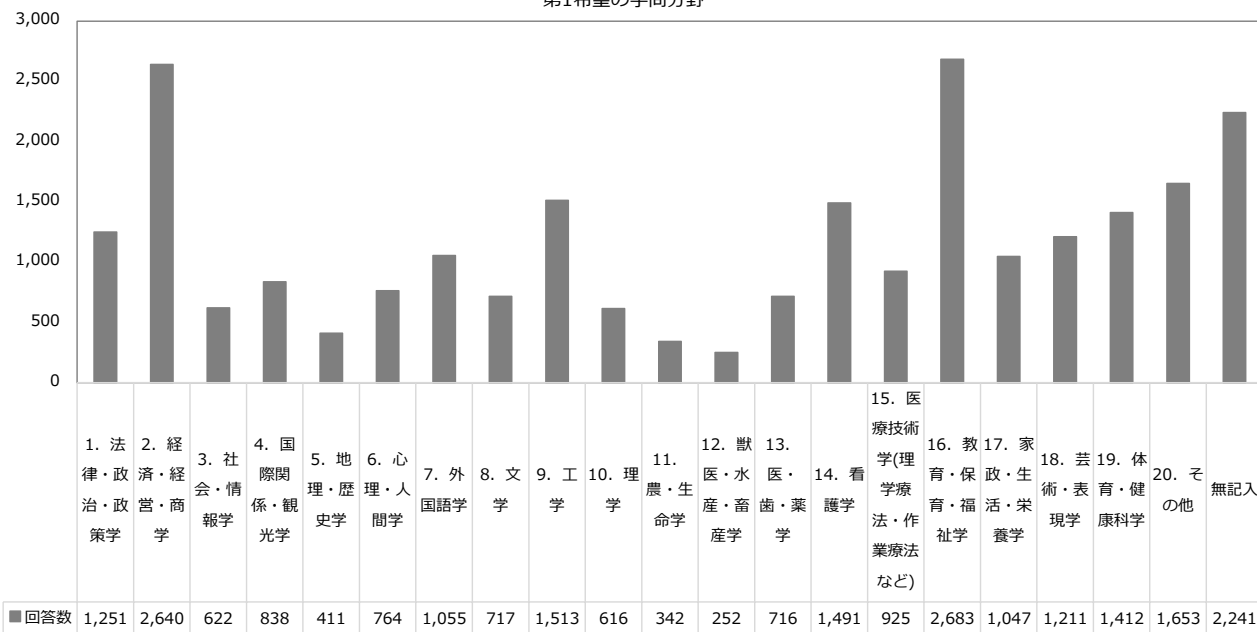
問5. あなたが進学したいと考えている学問分野はどれですか。次の中から第3希望まで選んでください。

※卒業後の進路として、現時点で「学問分野」を考えていない方は、「もし進学するとしたら」と仮定してお答えください。

<第1希望>

	回答数	比率
1. 法律・政治・政策学	1,251	5.1%
2. 経済・経営・商学	2,640	10.8%
3. 社会・情報学	622	2.5%
4. 国際関係・観光学	838	3.4%
5. 地理・歴史学	411	1.7%
6. 心理・人間学	764	3.1%
7. 外国語学	1,055	4.3%
8. 文学	717	2.9%
9. 工学	1,513	6.2%
10. 理学	616	2.5%
11. 農・生命学	342	1.4%
12. 獣医・水産・畜産学	252	1.0%
13. 医・歯・薬学	716	2.9%
14. 看護学	1,491	6.1%
15. 医療技術学(理学療法・作業療法など)	925	3.8%
16. 教育・保育・福祉学	2,683	11.0%
17. 家政・生活・栄養学	1,047	4.3%
18. 芸術・表現学	1,211	5.0%
19. 体育・健康科学	1,412	5.8%
20. その他	1,653	6.8%
無記入	2,241	9.2%
合計	24,400	100.0%

第1希望の学問分野



第2希望でも、第1希望と同じく「教育・保育・福祉学」、「経済・経営・商学」が上位2分野

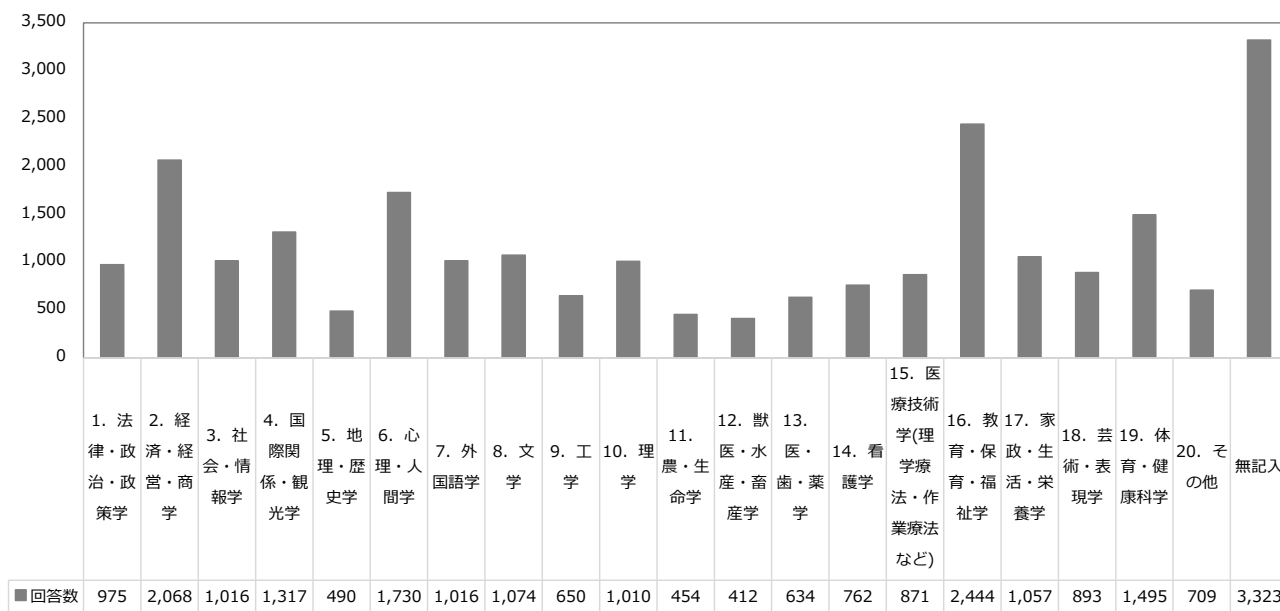
問5. あなたが進学したいと考えている学問分野はどれですか。次の中から第3希望まで選んでください。

※卒業後の進路として、現時点で「学問分野」を考えていない方は、「もし進学するとしたら」と仮定してお答えください。

<第2希望>

	回答数	比率
1. 法律・政治・政策学	975	4.0%
2. 経済・経営・商学	2,068	8.5%
3. 社会・情報学	1,016	4.2%
4. 国際関係・観光学	1,317	5.4%
5. 地理・歴史学	490	2.0%
6. 心理・人間学	1,730	7.1%
7. 外国語学	1,016	4.2%
8. 文学	1,074	4.4%
9. 工学	650	2.7%
10. 理学	1,010	4.1%
11. 農・生命科学	454	1.9%
12. 獣医・水産・畜産学	412	1.7%
13. 医・歯・薬学	634	2.6%
14. 看護学	762	3.1%
15. 医療技術学(理学療法・作業療法など)	871	3.6%
16. 教育・保育・福祉学	2,444	10.0%
17. 家政・生活・栄養学	1,057	4.3%
18. 芸術・表現学	893	3.7%
19. 体育・健康科学	1,495	6.1%
20. その他	709	2.9%
無記入	3,323	13.6%
合計	24,400	100.0%

第2希望の学問分野



第3希望では、「教育・保育・福祉学」に次いで、「心理・人間学」が第2位

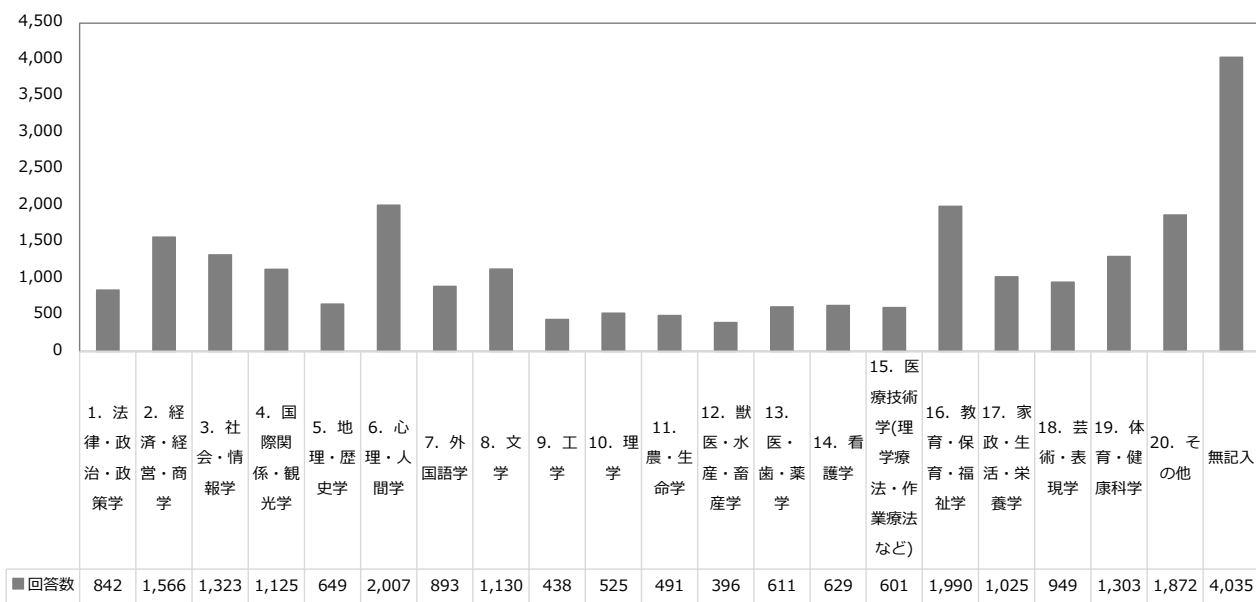
問5. あなたが進学したいと考えている学問分野はどれですか。次の中から第3希望まで選んでください。

※卒業後の進路として、現時点で「学問分野」を考えていない方は、「もし進学するとしたら」と仮定してお答えください。

<第3希望>

	回答数	比率
1. 法律・政治・政策学	842	3.5%
2. 経済・経営・商学	1,566	6.4%
3. 社会・情報学	1,323	5.4%
4. 国際関係・観光学	1,125	4.6%
5. 地理・歴史学	649	2.7%
6. 心理・人間学	2,007	8.2%
7. 外国語学	893	3.7%
8. 文学	1,130	4.6%
9. 工学	438	1.8%
10. 理学	525	2.2%
11. 農・生命学	491	2.0%
12. 獣医・水産・畜産学	396	1.6%
13. 医・歯・薬学	611	2.5%
14. 看護学	629	2.6%
15. 医療技術学(理学療法・作業療法など)	601	2.5%
16. 教育・保育・福祉学	1,990	8.2%
17. 家政・生活・栄養学	1,025	4.2%
18. 芸術・表現学	949	3.9%
19. 体育・健康科学	1,303	5.3%
20. その他	1,872	7.7%
無記入	4,035	16.5%
合計	24,400	100.0%

第3希望の学問分野



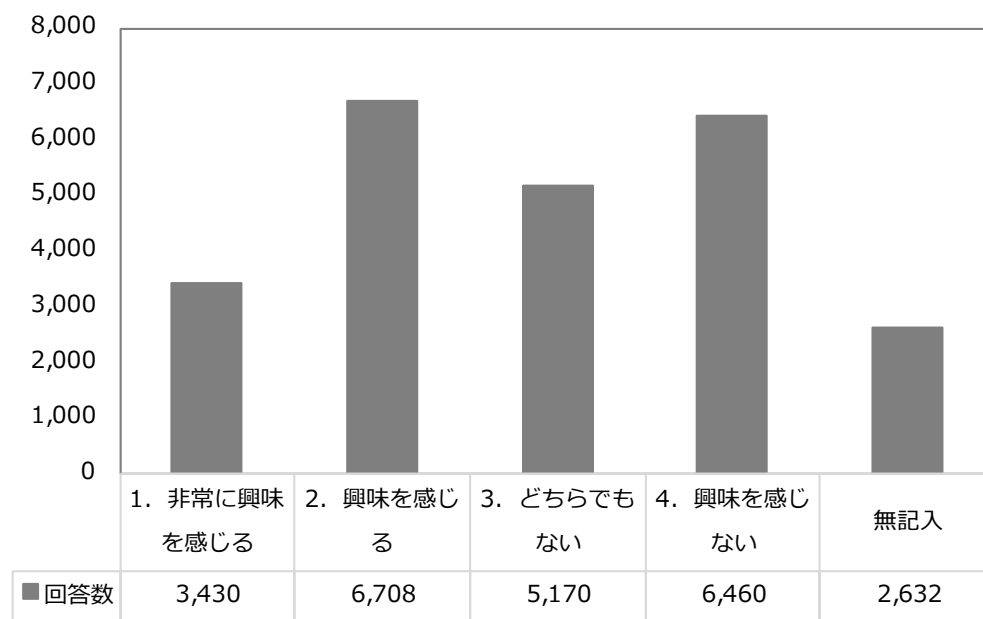
「非常に興味を感じる」と「興味を感じる」の合計が10,138人（全体の41.5%）

問6. あなたは以下のうち、どの学科に興味がありますか。各学科ごとに1つだけ選んでください。

【スポーツ・健康科学部 看護学科】

	回答数	比率
1. 非常に興味を感じる	3,430	14.1%
2. 興味を感じる	6,708	27.5%
3. どちらでもない	5,170	21.2%
4. 興味を感じない	6,460	26.5%
無記入	2,632	10.8%
合計	24,400	100.0%

スポーツ・健康科学部 看護学科への興味

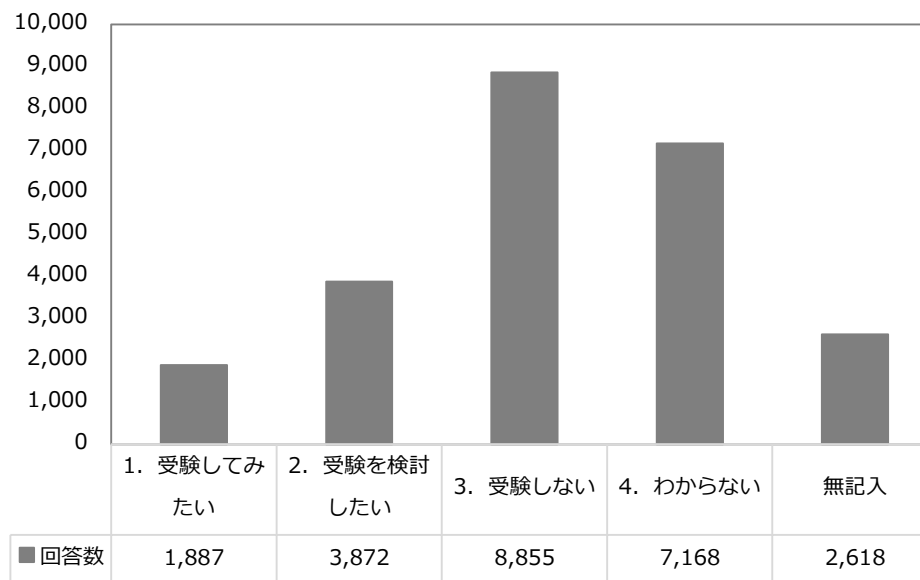


「受験してみたい」と「検討したい」の合計が5,759人（合計で23.6%）

問7. あなたは問6で掲げた学部学科のうち、いずれかの学部学科を受験したいと思いますか。1つだけ選んでください。

	回答数	比率
1. 受験してみたい	1,887	7.7%
2. 受験を検討したい	3,872	15.9%
3. 受験しない	8,855	36.3%
4. わからない	7,168	29.4%
無記入	2,618	10.7%
合計	24,400	100.0%

受験意思

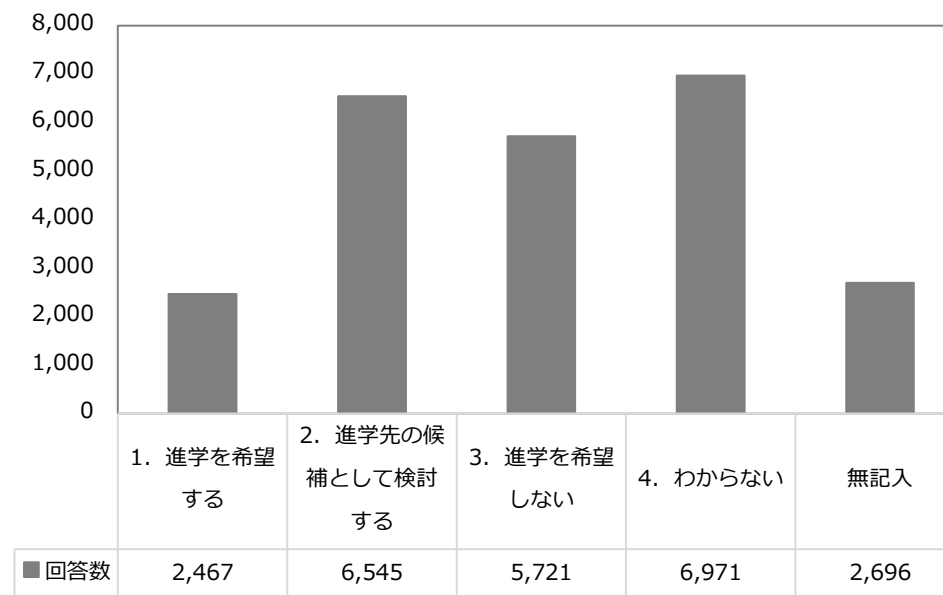


「進学を希望する」と「進学先の候補として検討する」の合計が9,012人（合計で37.0%）

問8. あなたは問6で掲げたいずれかの学部学科を受験し合格した場合、その学部学科への進学を希望しますか。
1つだけ選んでください。

	回答数	比率
1. 進学を希望する	2,467	10.1%
2. 進学先の候補として検討する	6,545	26.8%
3. 進学を希望しない	5,721	23.4%
4. わからない	6,971	28.6%
無記入	2,696	11.0%
合計	24,400	100.0%

進学意思

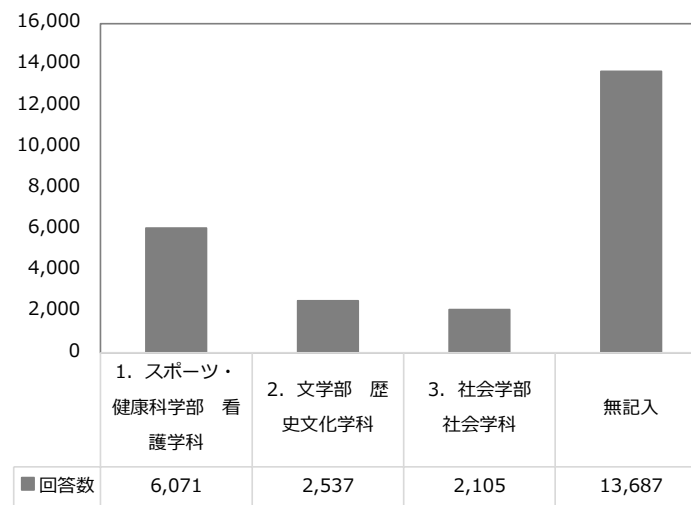


看護学科は6,071人となった

問9. 問8で「1. 進学を希望する」「2. 進学先の候補として検討する」を選択いただいた方におたずねします。
あなたはどの学部学科に進学したいですか。進学したい学部学科を1つだけ選んでください。

	回答数	比率
1. スポーツ・健康科学部 看護学科	6,071	24.9%
2. 文学部 歴史文化学科	2,537	10.4%
3. 社会学部 社会学科	2,105	8.6%
無記入	13,687	56.1%
合計	24,400	100.0%

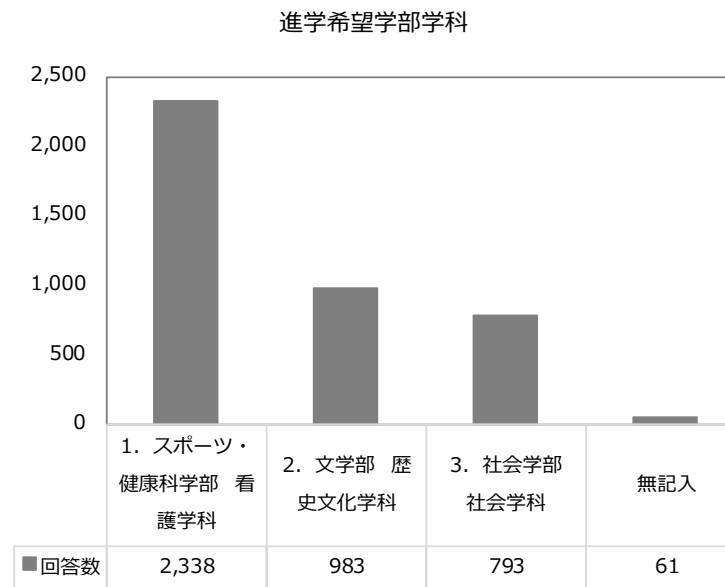
進学希望学部学科



看護学科は2,338人となった

問9. 問8で「1. 進学を希望する」「2. 進学先の候補として検討する」を選択いただいた方におたずねします。
あなたはどの学部学科に進学したいですか。進学したい学部学科を1つだけ選んでください。

	回答数	比率
1. スポーツ・健康科学部 看護学科	2,338	56.0%
2. 文学部 歴史文化学科	983	23.5%
3. 社会学部 社会学科	793	19.0%
無記入	61	1.5%
合計	4,175	100.0%

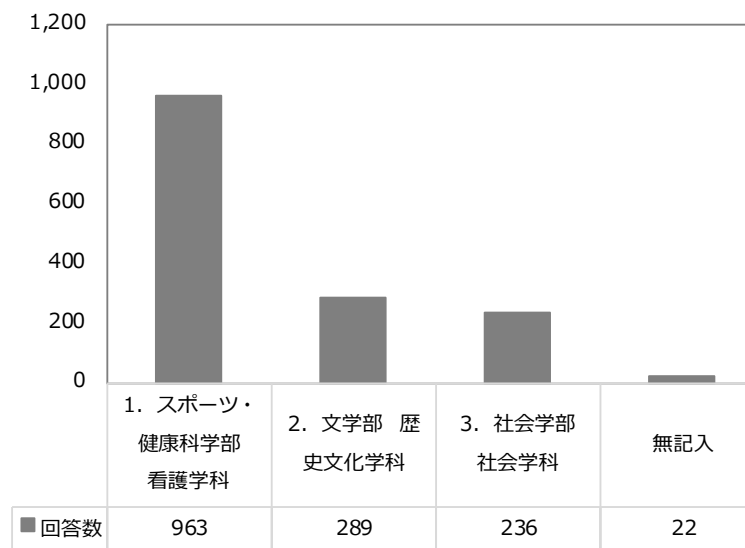


看護学科は963人となった

問9. 問8で「1. 進学を希望する」「2. 進学先の候補として検討する」を選択いただいた方におたずねします。
あなたはどの学部学科に進学したいですか。進学したい学部学科を1つだけ選んでください。

	回答数	比率
1. スポーツ・健康科学部 看護学科	963	63.8%
2. 文学部 歴史文化学科	289	19.1%
3. 社会学部 社会学科	236	15.6%
無記入	22	1.5%
合計	1,510	100.0%

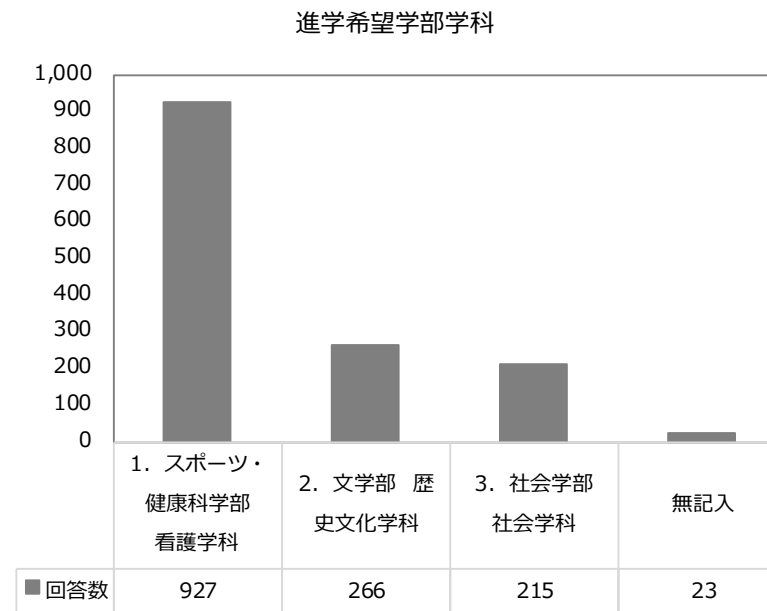
進学希望学部学科



看護学科は927人となった

問9. 問8で「1. 進学を希望する」「2. 進学先の候補として検討する」を選択いただいた方におたずねします。
あなたはどの学部学科に進学したいですか。進学したい学部学科を1つだけ選んでください。

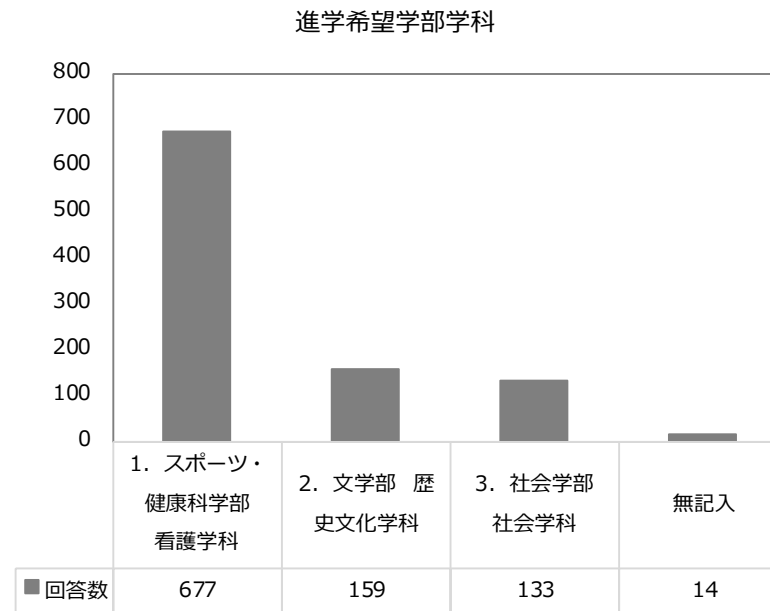
	回答数	比率
1. スポーツ・健康科学部 看護学科	927	64.8%
2. 文学部 歴史文化学科	266	18.6%
3. 社会学部 社会学科	215	15.0%
無記入	23	1.6%
合計	1,431	100.0%



看護学科は677人となった

問9. 問8で「1. 進学を希望する」「2. 進学先の候補として検討する」を選択いただいた方におたずねします。
あなたはどの学部学科に進学したいですか。進学したい学部学科を1つだけ選んでください。

	回答数	比率
1. スポーツ・健康科学部 看護学科	677	68.9%
2. 文学部 歴史文化学科	159	16.2%
3. 社会学部 社会学科	133	13.5%
無記入	14	1.4%
合計	983	100.0%



2. Appendix

<Appendix >
アンケート回収高校名一覧とエリア別回収件数

(アンケート回収高校名一覧を記載)

都道府県	高校数	比率
岩手	1	0.7%
山形	3	2.1%
福島	5	3.6%
茨城	14	10.0%
栃木	6	4.3%
群馬	11	7.9%
埼玉	36	25.7%
千葉	12	8.6%
東京	23	16.4%
神奈川	5	3.6%
新潟	7	5.0%
福井	1	0.7%
山梨	2	1.4%
長野	1	0.7%
静岡	8	5.7%
福岡	1	0.7%
熊本	1	0.7%
宮崎	2	1.4%
沖縄	1	0.7%
合計	140	100.0%

<Appendix> 調査票イメージ (高校向け)

大東文化大学 新学部新学科 設置に関するアンケート調査

本学では、2023年の大学創立百周年を迎えるにあたり、2018年春に「スポーツ・健康科学部 看護学科」「文学部 歴史文化学科」「社会学部 社会学科」(全て仮称)の設置を構想しております。今回、新学部新学科の構想にあたり、よりよい教育の実現を目指すため、高校生の皆様のご意見をあらかじめお聞きしたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。なお、このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の新学部設置の統計資料としてのみ活用し、個人情報として扱うことは一切ありません。

はじめに、あなた自身のことについておたずねします。

問1 あなたの性別についておたずねします。

1. 男性 2. 女性

【回答欄】

問2 あなたのお住まいの都道府県はどこですか。

1. 東京都 2. 埼玉県 3. 千葉県
4. 神奈川県 5. 群馬県 6. 栃木県
7. 茨城県 8. その他 ()

問3 あなたの学年についておたずねします。

1. 高校2年生 2. その他 ()

問4 あなたの進路についておたずねします。あなたは高校卒業後どのような進路を希望していますか。次の中からもっとも希望に近い進路を1つだけ選んでください。

1. 大学 2. 短期大学
3. 専門学校・各種学校 4. 就職
5. 留学 6. その他 ()

⇒1, 2, 3を選択された方は問5に進んでください。
⇒4, 5, 6を選択された方は裏面の問10に進んでください。

問5 あなたが進学したいと考えている学問分野はどれですか。次の中から第3希望まで選んでください。※卒業後の進路として、現時点で「学問分野」を考えていない方は、「もし進学するとしたら」と仮定してお答えください。

1. 法律・政治・政策学 2. 経済・経営・商学
3. 社会・情報学 4. 国際関係・観光学
5. 地理・歴史学 6. 心理・人間学
7. 外国語学 8. 文学
9. 工学 10. 理学
11. 農・生命科学 12. 観音・水産・畜産学
13. 医・歯・薬学 14. 看護学
15. 医療技術学(理学療法・作業療法など) 16. 教育・保育・福祉学
17. 家政・生活・栄養学 18. 芸術・表現学
19. 体育・健康科学 20. その他

(裏面に続く)

平成 28年 9月 吉日
高等学校 学校長 殿
進路指導担当者 殿
大東文化大学 学長 太田 政男
新学部新学科設置に関するアンケート調査へのご協力のお願い

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は本学の教育活動にご理解とご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。このたびは突然のお問い合わせにもかかわらず、標記アンケート調査へのご協力をいただき、誠にありがとうございます。
本学では、2023年の大学創立百周年を迎えるにあたり、2018年春に「スポーツ・健康科学部 看護学科」「文学部 歴史文化学科」「社会学部 社会学科」(全て仮称)の設置を構想しております。そこで今回、貴校の2年生の皆さんに卒業後の進路についてのお考えをお聞きし、新しい学部学科を開設するための基礎資料とさせていただきます。なお、本調査結果につきましてはコンピュータで処理され、統計資料としてのみ使用させていただきます。
公務ご多用のところ、誠に恐縮ではございますが、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
謹白

1. 調査内容
・高校2年次における進路に関する意識および大東文化大学新学部新学科への入学意向について
2. 調査方法
・調査対象は高校2年生です。
・新学部リーフレットとアンケート調査用紙が入ったクリアファイルを同封いたしましたので、ホームルーム等、アンケートへのご協力可能なお時間で実施していただき、アンケート調査用紙の回収をお願いいたします。
3. 返送希望日、返送方法
・誠に勝手ながら集計作業の都合上、平成28年11月4日(金)を目途にご返送いただければ幸いです。
・同封の返送用封筒および宅配便伝票(着払)をご使用いただき、回答済みアンケート調査用紙のみご返送下さい。
4. 調査実施に関するお問い合わせ先
・大東文化大学 学務部(担当: 箕輪、矢部、中野)
電話: 03-5399-7333(平日9時~17時、土曜9時~12時) E-mail: gakumu@jm.daito.ac.jp
※なお、本調査の実施は、所定の契約を結んだ上で業務委託しておりますので、宅配便伝票の返送先は、業務委託先である下記調査会社となっております。
【業務委託先】株式会社リクルートマーケティングパートナーズ まなび事業本部 調査担当: 小竹・河内
〒104-0031 東京都中央区京橋2-1-3 京橋トラストタワー 8F(電話: 03-6835-3924 FAX: 03-6705-0244)

「スポーツ・健康科学部 看護学科」「文学部 歴史文化学科」「社会学部 社会学科」(全て仮称)についておたずねします。

問6 あなたは以下のうち、どの学科に興味がありますか。各学科ごとに1つだけ選んでください。 【回答欄】

【スポーツ・健康科学部 看護学科】

1. 非常に興味を感じる 2. 興味を感じる
3. どちらでもない 4. 興味を感じない

【文学部 歴史文化学科】

1. 非常に興味を感じる 2. 興味を感じる
3. どちらでもない 4. 興味を感じない

【社会学部 社会学科】

1. 非常に興味を感じる 2. 興味を感じる
3. どちらでもない 4. 興味を感じない

問7 あなたは問6で掲げた学部学科のうち、いずれかの学部学科を受験したいと思いませんか。1つだけ選んでください。

1. 受験してみたい 2. 受験を検討したい
3. 受験しない 4. わからない

問8 あなたは問6で掲げたいずれかの学部学科を受験し合格した場合、その学部学科への進学を希望しますか。1つだけ選んでください。

1. 進学を希望する 2. 進学先の候補として検討する
3. 進学を希望しない 4. わからない

問9 問8で「1. 進学を希望する」「2. 進学先の候補として検討する」を選択いただいた方におたずねします。あなたはどの学部学科に進学したいですか。進学したい学部学科を1つだけ選んでください。

1. スポーツ・健康科学部 看護学科 2. 文学部 歴史文化学科
3. 社会学部 社会学科

問10 それぞれの学部学科につきまして、ご意見等がありましたら、是非ともお聞かせください。

スポーツ・健康科学部 看護学科	
文学部 歴史文化学科	
社会学部 社会学科	

【参考資料】

新学部新学科名 (名称/設置 候補中)	入学定員 (予定)	初年度納付金 (入学定金/予定)	他大学の類似学科	他大学の初年度納付金(入学定金含む) (2016年度実績)
スポーツ・健康科学部 看護学科	110人	初年度納入金:190万7,600円 入学金:20万円(予定) 授業料:69万7,000円(予定) その他:71万7,600円(予定)	①東都医療大学 ヒーリング学部 看護学科 ②西武文京大学 看護学部 看護学科 ③日本医療科学大学 保健医療学部 看護学科	初年度納入金:175万9,370円 (入学金:25万円/授業料:90万円/その他:60万9,370円) 初年度納入金:193万5,000円 (入学金:30万円/授業料:100万円/その他:63万5,000円) 初年度納入金:185万6,000円 (入学金:30万円/授業料:90万円/その他:75万6,000円)
文学部 歴史文化学科	100人	初年度納入金:120万6,600円 入学金:20万円(予定) 授業料:69万7,000円(予定) その他:26万7,600円(予定)	①東洋大学 文学部 文学科 ②立正大学 文学部 文学科 ③大正大学 文学部 歴史学科	初年度納入金:116万円 (入学金:25万円/授業料:69万円/その他:23万円) 初年度納入金:120万1,000円 (入学金:25万円/授業料:69万4,000円/その他:22万7,000円) 初年度納入金:113万円 (入学金:20万円/授業料:70万円/その他:23万円)
社会学部 社会学科	200人	初年度納入金:119万6,600円 入学金:20万円(予定) 授業料:68万7,000円(予定) その他:26万7,600円(予定)	①関東学院大学 社会学部 現代社会学科 ②成蹊大学 社会学部 社会学科 ③日本文学 社会学部 地域社会学科	初年度納入金:126万2,600円 (入学金:28万円/授業料:70万円/その他:28万2,600円) 初年度納入金:133万7,900円 (入学金:27万円/授業料:74万円/その他:32万7,900円) 初年度納入金:135万1,600円 (入学金:25万円/授業料:71万5,000円/その他:38万7,100円)

*** これにてアンケートは終了です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。 ***





大東文化大学に
カ・レ・シが
できます。

2018年4月、大東文化大学は、3つの学科の
新設を予定しています。(設置構想中※)

 大東文化大学

※設置予定 構想中(内容、学部学科名称、取得可能な資格等は予定であり変更する場合があります。)

将来性のある カレシです。

急激に変化し続ける社会、加速するグローバル化のなかで、新しい時代を見据えた“未来志向”の学びを。本リーフレットでは、そうした学びの特徴とともに、それぞれの学部・学科が予測する未来をご紹介します。

あなたの将来にとっても、ヒントになることがきっとあるはず。ぜひ少しの時間、お付き合いください。

カ

看護学科 (仮称)

[スポーツ・健康科学部]

レ

歴史文化学科 (仮称)

[文学部]

シ

社会学部社会学科 (仮称)

看護学科 (仮称)[※] [スポーツ・健康科学部]



スポーツ・健康科学部看護学科の未来予測

少子高齢化が進み、医師や看護師の不足は当面続いていく。一方で、医療の高度化やQOL(クオリティ・オブ・ライフ=生活の質。人間らしく、自分らしく生活できているかを評価する概念)への関心の高まりによって、+αな付加価値をもった看護師が高く評価される時代に。

>>>そこで求められるチカラ、スキル

「教育の大東」としての豊富な教養
科目群により培われる、さまざまな
看護の対象者を理解するチカラ

「地域の大東」として、住み慣れた地域で
自分らしい暮らしを人生の最後まで続け
ることができるよう支援できるチカラ

「スポーツの大東」として、健
康の回復・維持・増進を支援
するチカラ

スポーツ・健康科学部看護学科の特徴

- ヒューマンケアの専門職として必要な教養と看護実践能力を身につけるカリキュラム
- 地域で求められる医療人材を養成するための実習プログラム
- スポーツ科学科、健康科学科、看護学科の特徴を活かした健康維持増進の専門職の育成

看護師としての幅広い活躍の場

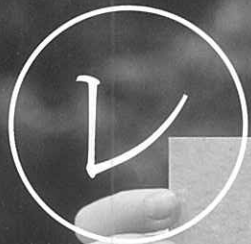
- 病院・診療所・クリニック
- 訪問看護ステーション
- 介護老人保健施設
介護老人福祉施設
介護療養型医療施設
- 一般企業の健康管理室など

取得可能な国家資格

- 看護師国家試験受験資格*

キャンパス所在地: 東松山キャンパス(1~4年次)

入学定員 110名(予定)



歴史文化学科 (仮称)[※] [文学部]

3年次進級の際に1コースを選択▷▷ ◎日本史コース ◎東西文化コース ◎観光歴史学コース



文学部歴史文化学科の未来予測

メーカー・金融はもちろん、小売・サービス業においても海外進出が増え、多くの日本企業がグローバル化する。また、国内においても、2020年の東京オリンピックをきっかけに、外国人の訪日旅行が増加するなど、さまざまな国の人々と触れあう機会が自然と増えていく。

>>>そこで求められるチカラ、スキル

自国の魅力を自分の言葉で語る
ことができる歴史や文化に関する
深い知識

異なる文化、コミュニティの人とも
豊かに共生できる協調性、コミュ
ニケーションスキル

歴史・文化遺産や地域の特色を
活かした商品・サービスを企画す
るプロデュース力

文学部歴史文化学科の特徴

- 「世界の中の日本」という視点で歴史・文化・社会を学ぶカリキュラム
- 自国の歴史を多様な観点から学び、現代の理解につなげる教育
- 地域社会・自治体・企業との協働プロジェクトなど、フィールドワークを取り入れた実践的教育
- 外国語教育など、観光分野の人材育成と「国内旅行業務取扱管理者」資格取得支援

キャンパス所在地：東松山キャンパス(1・2年次)/板橋キャンパス(3・4年次)

将来イメージ(業界・職種の可能性)

- 一般企業(観光分野)
- 旅行代理店
- 出版業界
- 教育・学習支援業
- 地域振興を担う地方公務員
- 博物館の職員
- 図書館・学校図書室の職員
- 中学・高校の教員* など

取得可能な資格

- 学芸員
- 司書
- 社会教育主事
- 教育職員(一種)免許状
(中学校社会・高校地理歴史)*

入学定員 100名(予定)



社会学部社会学科 (仮称)[※]

2年次進級の際に1コースを選択▷▷ ◎多文化と共生コース ◎都市と地域コース ◎メディアと情報コース



社会学部社会学科の未来予測

急激なグローバル化により、国境を越えたヒト・モノ・情報の動きが加速していくなかで、少子高齢化や格差、国家財政のひっ迫、環境破壊などの問題はより深刻化する。変化していく状況に、一人ひとりが柔軟に対応していかなければならない時代に。

}}}}そこで求められるチカラ、スキル

文化や価値観・発想の違いを理解し、お互いに協力・尊重し合って生きていく人間力

「あたりまえ」を疑い、あらゆる次元で問題を見つけだし、分析する調査能力、マーケティング力

マニュアルに頼らず、自ら対策を講じていく課題解決力

将来イメージ(業界・職種の可能性)

- 一般企業(市場調査部門)
- 出版・マスコミ関係
- リサーチ会社などの調査員
- IT関連企業
- 公務員・団体職員
- 高校教員(情報)* など

取得可能な資格

- 社会調査士(申請予定)
- 認定心理士(申請予定)
- 教育職員(一種)免許状(高校情報)*

社会学部社会学科の特徴

- 社会学の理論と社会調査のスキルを身につけるカリキュラム
- 在学中ずっと続く少人数クラスが、学生一人ひとりの学びをサポート
- 「インターンシップ」、「キャリア支援特殊講義」など、社会に出て学ぶ研修科目
- 現地現物でリアルな体験をする「海外・国内研修」、「国内留学制度」

キャンパス所在地:東松山キャンパス(1・2年次)/板橋キャンパス(3・4年次)

入学定員 200名(予定)

大東文化大学

アジアから世界へ— 多文化共生を目指す新しい価値の不断の創造

Since 1923

ROOTS 国によって創立された私立大学

大東文化大学は、8学部18学科を有する総合大学です。1923年、当時の国会である“帝国議会”の決議によって生まれたルーツをもつ日本でもめずらしい私立大学です。

現在、7年後の創立100周年を目指し、学部再編成や学科新設など、社会のニーズに対応した様々な取り組みを行っています。

大東文化大学の学びの特徴

- ◎初年次教育
- ◎20言語の語学教育
- ◎アクティブ・ラーニング
- ◎500以上の全学共通科目
- ◎多彩な専門科目とゼミ
- ◎グローバルな学び など

板橋キャンパス

〒175-8571 東京都板橋区高島平1-9-1

[設置学部] 文・経済・外国語・法・経営・環境創造学部3・4年次

ACCESS

- 東武東上線にて東武練馬(大東文化大学前)駅北口下車 無料スクールバスで約7分
- 都営三田線西台(大東文化大学前)駅西口下車 徒歩9分
- JR赤羽駅西口下車 路線バス(国際興業)成増駅北口行き約20分 大東文化大学バス停下車



東松山キャンパス

〒355-8501 埼玉県東松山市岩殿560

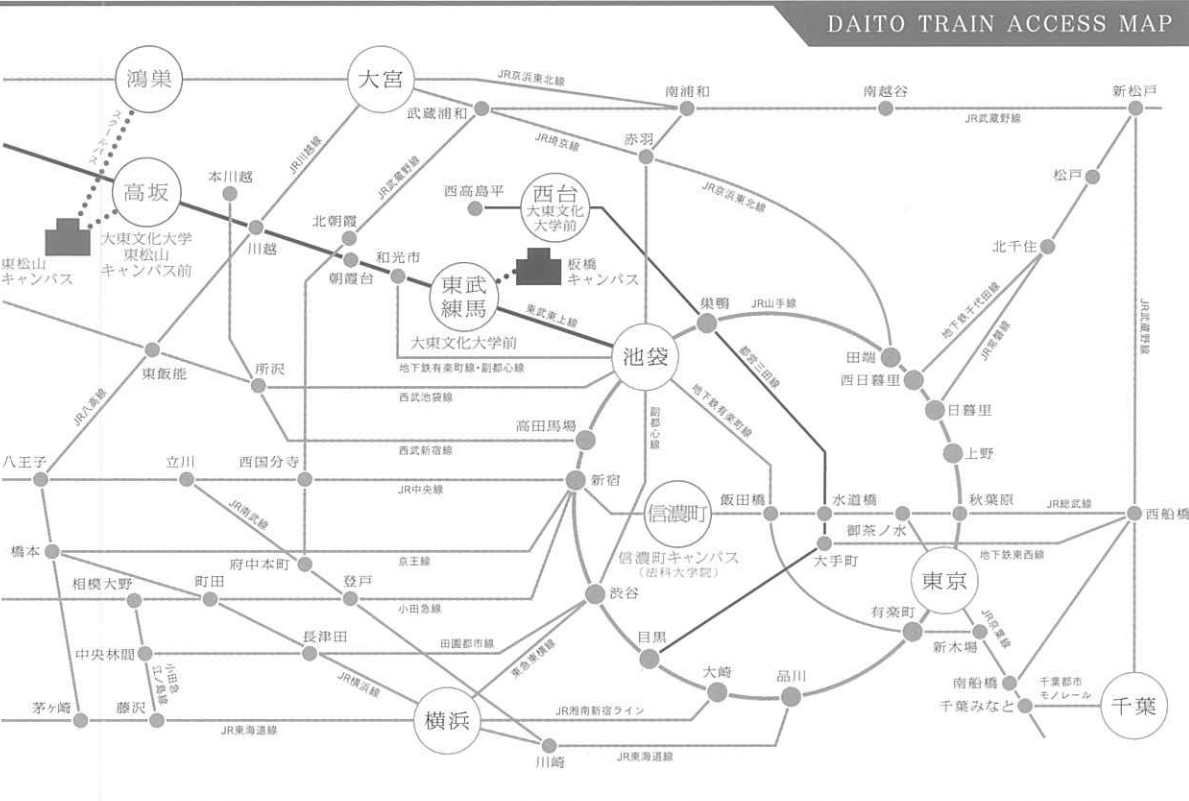
[設置学部] 文・経済・外国語・法・経営・環境創造学部(1・2年次) 国際関係学部/スポーツ・健康科学部(1~4年次)

ACCESS

- 東武東上線(有楽町線/副都心線直通)にて高坂(大東文化大学東松山キャンパス前)駅西口下車 無料スクールバスで約7分/路線バス(川越観光)鳩山ニュータウン方面行き大東文化大学バス停下車
- JR高崎線鴻巣駅東口下車無料スクールバスで約40分



[設置学部]は2016年4月現在のキャンパス所在地です。



スクールバス無料!

東武東上線の高坂駅とJR高崎線の鴻巣駅から東松山キャンパスへ、東武東上線の東武練馬駅から板橋キャンパスへ、両キャンパスとも無料のスクールバスを運行しています。



教員志望者をサポート! 教職課程センター

2016年
4月スタート
(両キャンパス)

本学は伝統的に教員志望者が多く、卒業生が全国の学校現場で教員として活躍中です。教職課程センターでは入学直後から資格取得、学校現場でのボランティア、採用試験対策、就職までのボランティア、採用試験対策、就職まで一貫してサポート。小・中・高教員としての経験を持つ本学の教職員が直接アドバイスをを行います。

サポートプログラム

- 教職セミナー(勉強会・面接指導など)
- 勉強会
- 教員採用試験対策模試
- 専門教養集中講座
- 教育実習先への訪問指導など

看護職員需給見通しの今後の進め方について(案)

1. 看護職員需給見通しについて

- 看護職員については、これまで、医療提供体制の変化等を踏まえた看護職員の需給見通しに基づき、看護師等の養成や就業者数の確保を図っており、概ね5年ごとに通算7回にわたり需給見通しを策定してきた。
第7次需給見通しは、平成23年から27年までの5年間について策定された。その策定方法については、医療機関等へ調査を行い、都道府県が需要数・供給数について都道府県ごとに積み上げを行い、厚生労働省で取りまとめを行った。
- 平成28年以降の看護職員需給見通しの策定の在り方等を検討するため、「看護職員需給見通しに関する検討会」を開催した。
【検討会の検討事項】
 - (1) 看護職員需給見通しの策定
 - (2) 長期的な看護職員需給見通しの推計
 - (3) 看護職員確保対策の検討
- 平成26年12月1日に開催した第1回検討会では、
 - ① 都道府県が策定する地域医療構想を盛り込む、平成30年からの都道府県の地域医療計画との整合性の観点から、平成30年からの需給見通しを策定すること
 - ② 次期需給見通しは平成28、29年の2ヵ年として、第7次需給見通し等の策定時に行った医療機関等への調査は行わず、簡易な方法により策定することとされ、②について検討会で引き続き議論することとされた。
- その後、都道府県においては、団塊の世代が75歳以上となる2025年(平成37年)の医療需要を踏まえた地域医療構想の策定が進められている。
この地域医療構想の策定による病床の機能分化・連携に対応していくためには、看護職員のみならず医師やリハビリ関係職種を含めた医療従事者の需給について、見直しを検討することが必要となった。
- このため、地域医療構想との整合性の確保等の観点を踏まえ、医師及び看護職員等の医療従事者の需給を見通し、医療従事者の確保対策等について検討するため、「医療従事者の需給に関する検討会」を開催することとし、平成27年12月10日に第1回検討会が開催された。
【検討会の検討事項】
 - (1) 医療従事者の需給の見通しについて
 - (2) 医療従事者の確保策、地域偏在対策等について

- 看護職員の需給見通しについては、新たに開催する「医療従事者の需給に関する検討会」の「看護職員需給分科会」において、地域医療構想における2025年の医療需要等を踏まえて今後検討する。
これに伴い、平成28、29年の2ヵ年の看護職員需給見通しは策定せず、「看護職員需給見通しに関する検討会」は、「看護職員需給分科会」へ検討事項を引き継いで終了する。

2. 看護職員確保対策について

- 看護職員確保対策は、看護職員需給見通しを策定し、その達成のための対策を講じることを基本として実施してきた。
こうした観点から、国及び都道府県において、今後とも、看護職員需給見通しの策定及び看護職員確保対策を行っていく。
- 社会保障・税一体改革の試算では、平成37年(2025年)に看護職員が約196万人～約206万人必要とされており、今後、仮に3万人/年のペースで増加しても、約3万人～13万人分のギャップが生じるとされている。
この試算も念頭に置いて、国において、看護職員の復職支援や離職防止・定着促進等のための看護職員確保対策を引き続き行っていく。
- 都道府県においては、平成29年度までの現行の地域医療計画等をもとに看護職員確保対策が実施されるが、国においては、1.の看護職員需給見通しの今後の進め方について都道府県への十分な説明を行うとともに、都道府県の実情に応じて必要な助言等を行う。

第七次看護職員需給見通しに関する検討会報告書

平成22年12月21日

参考 第七次看護職員需給見通し

(単位:人、実人員)

区 分	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
需 要 見 通 し	1,541,000	1,570,300	1,597,800	1,623,800	1,650,200
① 病 院	938,300	958,800	977,500	993,400	1,008,700
② 診 療 所	280,500	283,800	286,900	289,700	293,200
③ 助 産 所	2,700	2,800	2,800	2,800	2,900
④ 訪 問 看 護 ステーション	36,400	38,000	39,500	41,000	42,400
⑤ 介 護 保 険 関 係	182,800	185,400	188,400	193,000	197,900
⑥ 社会福祉施設、(⑤を 在宅サービス 除く)	22,900	23,700	24,400	25,100	25,800
⑦ 看 護 師 等 学 校 養 成 所	18,900	19,000	19,000	19,100	19,100
⑧ 保 健 所 ・ 市 町 村	42,400	42,700	42,900	43,100	43,300
⑨ 事 業 所 ・ 研 究 機 関 等	16,000	16,200	16,400	16,600	16,800
供 給 見 通 し	1,481,200	1,516,700	1,554,600	1,595,900	1,639,700
① 年当初就業者数	1,449,200	1,481,200	1,516,700	1,554,600	1,595,900
② 新 卒 就 業 者 数	50,900	52,100	52,900	54,000	54,400
③ 再 就 業 者 数	140,400	144,500	148,400	153,000	157,700
④ 退 職 等 に よ る 減 少 数	159,400	161,000	163,300	165,700	168,300
需 要 見 通 し と 供 給 見 通 し の 差	59,800	53,600	43,200	27,800	10,500
(供給見通し/需 要 見 通 し)	96.1%	96.6%	97.3%	98.3%	99.4%

注) 四捨五入のため、各項目の数値の合計等は一致しない。

【資料16】平成26年度埼玉県保健統計年報 統計資料(第2章医療統計)「第2-1表」

第2-1表 医療施設数(都道府県別)

平成26年10月1日現在

	病院						一般診療所		歯科診療所	
	病院	順位	精神科病院	順位	一般病院	順位	一般診療所	順位	歯科診療所	順位
全国	8 493		1 067		7 426		100 461		68 592	
北海道	569	2	70	1	499	2	3 377	9	2 978	9
青森	97	34	16	25	81	35	895	34	555	32
岩手	91	37	15	27	76	39	902	33	594	30
宮城	142	21	27	16	115	25	1 626	16	1 054	15
秋田	72	41	16	25	56	42	822	38	444	40
山形	68	43	13	32	55	43	932	32	486	37
福島	128	27	23	18	105	27	1 366	25	860	21
茨城	181	14	20	19	161	14	1 722	13	1 400	12
栃木	109	29	18	22	91	30	1 424	22	980	18
群馬	129	26	13	32	116	23	1 555	19	978	19
埼玉	341	7	49	4	292	7	4 148	7	3 502	5
千葉	284	9	34	10	250	9	3 710	8	3 217	6
東京	642	1	50	3	592	1	12 780	1	10 579	1
神奈川	342	6	48	5	294	6	6 556	3	4 920	3
新潟	131	23	20	19	111	26	1 687	14	1 170	14
富山	107	31	19	21	88	33	768	40	453	39
石川	97	34	13	32	84	34	874	36	488	36
福井	70	42	10	40	60	41	582	45	292	45
山梨	60	44	8	42	52	44	688	43	433	41
長野	131	23	15	27	116	23	1 561	18	1 020	16
岐阜	102	32	12	37	90	31	1 579	17	947	20
静岡	182	13	31	12	151	15	2 685	10	1 776	10
愛知	321	8	38	8	283	8	5 227	4	3 695	4
三重	102	32	13	32	89	32	1 527	20	856	22
滋賀	58	45	7	45	51	45	1 035	30	564	31
京都	174	15	12	37	162	13	2 459	12	1 309	13
大阪	530	3	39	6	491	3	8 307	2	5 505	2
兵庫	353	5	32	11	321	5	4 983	5	2 987	8
奈良	77	40	4	47	73	40	1 187	28	697	26
和歌山	86	39	8	42	78	38	1 070	29	554	33
鳥取	45	47	5	46	40	47	511	47	257	47
島根	52	46	8	42	44	46	723	42	274	46
岡山	167	16	17	23	150	16	1 653	15	990	17
広島	244	11	31	12	213	11	2 591	11	1 559	11
山口	147	19	28	14	119	21	1 274	26	679	28
徳島	113	28	15	27	98	28	743	41	426	42
香川	90	38	10	40	80	37	822	38	471	38
愛媛	143	20	15	27	128	18	1 247	27	683	27
高知	130	25	11	39	119	21	569	46	370	44
福岡	460	4	60	2	400	4	4 587	6	3 072	7
佐賀	108	30	14	31	94	29	684	44	426	42
長崎	156	18	28	14	128	18	1 409	23	751	25
熊本	214	12	38	8	176	12	1 471	21	850	23
大分	158	17	25	17	133	17	972	31	538	34
宮崎	140	22	17	23	123	20	891	35	515	35
鹿児島	256	10	39	6	217	10	1 406	24	820	24
沖縄	94	36	13	32	81	35	874	36	618	29

「」には、「結核療養所」を含む。

資料 医療施設調査

【資料17】平成26年度埼玉県保健統計年報 統計資料(第2章医療統計)「第2-45表」

第2-45表 就業保健師、助産師、看護師、准看護師、歯科衛生士、歯科技工士数(都道府県別)

平成26年12月31日

	保健師			助産師			看護師		
	実数	10万対	順位	実数	10万対	順位	実数	10万対	順位
全国	48 452	38.1		33 956	26.7		1086 779	855.2	
北海道	3 028	56.1	8	1 647	30.5	11	57 732	1069.1	18
青森	602	45.6	30	318	24.1	33	12 274	929.1	28
岩手	677	52.7	14	370	28.8	20	12 938	1007.6	19
宮城	1 026	44.1	32	735	31.6	9	18 119	778.3	40
秋田	565	54.5	11	328	31.6	9	10 431	1005.9	21
山形	555	49.1	22	315	27.9	23	10 841	958.5	25
福島	946	48.9	23	466	24.1	33	15 431	797.5	37
茨城	1 097	37.6	36	642	22.0	43	19 675	674.0	44
栃木	837	42.3	34	462	23.3	41	15 019	758.5	41
群馬	906	45.9	29	472	23.9	37	16 560	838.1	33
埼玉	1 878	25.9	44	1 412	19.5	47	41 184	568.9	47
千葉	1 856	29.9	42	1 335	21.5	45	38 739	625.1	46
東京	3 400	25.4	45	3 651	27.3	28	97 383	727.3	42
神奈川	2 072	22.8	47	2 196	24.1	33	61 164	672.4	45
新潟	1 199	51.8	16	790	34.2	5	20 967	906.5	29
富山	607	56.7	7	360	33.6	6	11 474	1072.3	16
石川	546	47.2	27	337	29.2	16	13 535	1170.8	6
福井	503	63.7	5	218	27.6	24	7 958	1007.3	20
山梨	589	70.0	1	232	27.6	24	7 344	873.2	31
長野	1 466	69.5	2	797	37.8	3	20 439	969.1	23
岐阜	910	44.6	31	600	29.4	14	16 100	788.8	38
静岡	1 599	43.2	33	952	25.7	30	29 174	787.4	39
愛知	2 341	31.4	41	2 051	27.5	27	54 013	724.5	43
三重	645	35.3	38	386	21.2	46	14 910	817.0	36
滋賀	668	47.2	27	461	32.6	8	12 735	899.4	30
京都	1 087	41.6	35	903	34.6	4	24 637	943.9	27
大阪	2 149	24.3	46	2 564	29.0	17	72 617	821.8	35
兵庫	1 569	28.3	43	1 334	24.1	33	47 672	860.4	32
奈良	476	34.6	39	326	23.7	38	11 429	830.6	34
和歌山	474	48.8	24	278	28.6	21	9 629	991.7	22
鳥取	300	52.3	15	229	39.9	2	6 340	1104.5	11
島根	462	66.3	4	285	40.9	1	7 890	1132.0	9
岡山	936	48.6	25	453	23.5	39	20 926	1087.6	14
広島	1 051	37.1	37	664	23.4	40	27 352	965.5	24
山口	710	50.4	20	423	30.0	12	15 598	1107.8	10
徳島	390	51.0	17	224	29.3	15	8 436	1104.2	12
香川	526	53.6	12	290	29.6	13	10 514	1071.8	17
愛媛	672	48.2	26	309	22.2	42	15 366	1101.5	13
高知	508	68.8	3	162	22.0	43	9 700	1314.4	1
福岡	1 679	33.0	40	1 323	26.0	29	54 653	1073.5	15
佐賀	467	55.9	9	208	24.9	31	10 020	1200.0	3
長崎	683	49.3	21	401	28.9	18	16 379	1181.7	5
熊本	910	50.7	19	441	24.6	32	21 333	1189.1	4
大分	672	57.4	6	338	28.9	18	13 482	1151.3	8
宮崎	608	54.6	10	307	27.6	24	12 865	1154.8	7
鹿児島	881	52.8	13	554	33.2	7	20 276	1215.6	2
沖縄	724	51.0	17	407	28.6	21	13 526	951.9	26

資料 衛生行政報告例

都市部の高齢化対策の現状

平成25年5月20日

厚生労働省老健局

今後急速に高齢化が進む都市部(その2)

都道府県別の高齢者(75歳以上)人口の推移

	2010年時点の 高齢者人口(万人)	2025年時点の 高齢者人口(万人)	増加数 (万人)	増加率	順位
埼玉県	58.9	117.7	58.8	+100%	1
千葉県	56.3	108.2	52.0	+92%	2
神奈川県	79.4	148.5	69.2	+87%	3
大阪府	84.3	152.8	68.5	+81%	4
愛知県	66.0	116.6	50.6	+77%	5
(東京都)	123.4	197.7	74.3	+60%	(8)
岩手県	19.3	23.4	4.1	+21%	43
秋田県	17.5	20.5	3.0	+17%	44
鹿児島県	25.4	29.5	4.1	+16%	45
島根県	11.9	13.7	1.8	+15%	46
山形県	18.1	20.7	2.6	+14%	47
全国	1,419.4	2,178.6	759.2	+53%	

【資料】2010年高齢者人口:「平成22年国勢調査」(総務省統計局)

2025年高齢者人口:「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」(国立社会保障・人口問題研究所)

今後急速に高齢化が進む都市部(その3)

都道府県別生産年齢人口(15~64歳)／高齢者(75歳以上)人口比率の推移

	2010年時点の 比率①	2025年時点の 比率②	変化率 ②/①	順位
埼玉県	8.1	3.6	45%	1
千葉県	7.2	3.3	45%	2
大阪府	6.8	3.3	49%	3
神奈川県	7.6	3.8	49%	4
奈良県	5.7	2.9	51%	5
(愛知県)	7.3	3.9	53%	(8)
(東京都)	7.3	4.3	59%	(21)
佐賀県	4.6	3.0	66%	43
熊本県	4.3	2.8	66%	44
山形県	3.9	2.6	68%	45
島根県	3.5	2.4	68%	46
鹿児島県	4.0	2.8	69%	47
全国	5.8	3.3	56%	

【資料】2010年高齢者人口:「平成22年国勢調査」(総務省統計局)

2025年高齢者人口:「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」(国立社会保障・人口問題研究所)

平成26年度

埼玉県における 看護人材の現状と課題



平成26年6月10日(火)
埼玉県保健医療部医療整備課

看護職員確保の数値目標

【現状】

【目標】

H24年末 約56,000人 ⇒ H28年末 63,500人

○年間変動

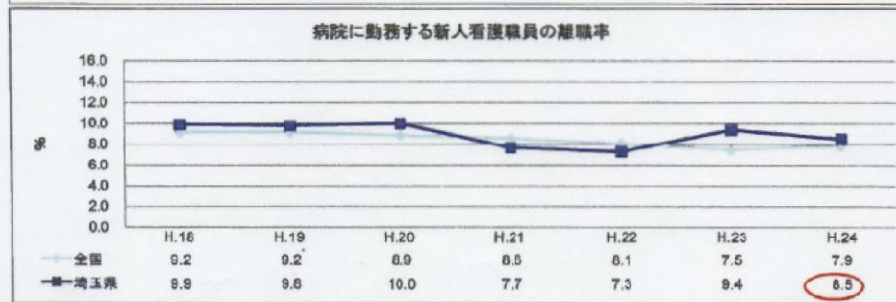
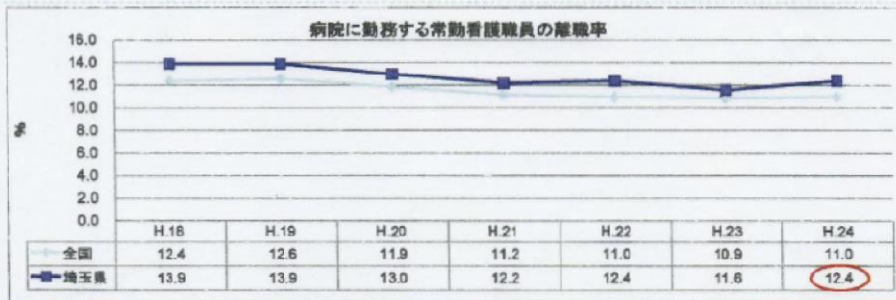
就業者	約2,500人	} 約1,600人増加 (4年で6,400人) ⇒H28年末には 62,400人
+ 再就業者	約5,700人	
- 離職者(推計)	約6,600人	

1,100人不足

○増加に向けた取組

合格率増(30人)+離職防止(180人)+再就業の促進(90人)
=300人増加 (4年で1,200人)

看護職員の離職率 (日本看護協会調査)



大東文化大学 御中

**< 新学部新学科設置に関するアンケート調査 >
最終集計結果のご報告
看護学科 採用意向調査**

< 2017/1/11 (水) 時点集計分 >

医療機関 ; 59社分

2017年3月17日

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ

株式会社リクルートコミュニケーションズ

0. はじめに

- 本資料は、2017/1/11（木）時点におけるアンケート回収・集計結果をまとめた報告書となります。
- アンケートの回収状況は、30.1%となっております。
（詳細については次頁以降参照）
- 最終的な集計結果は以下のようにとなっております。需要性という観点においては十分な量の「採用意向」が確保されました。

	定員数（予定）	「採用したい」、 「採用を検討したい」と 答えた企業・施設	ミニマムで 想定される 総採用人数
看護学科	110人	41社	125人

<はじめに>

アンケート発送枚数・回収（集計）済み枚数

<アンケート発送枚数・回収（集計）済み枚数>

（1/11（木）時点回収分までを集計）

	アンケート発送枚数	回収（集計）済み枚数	回収率（%）
医療機関	196社	59社	30.1%

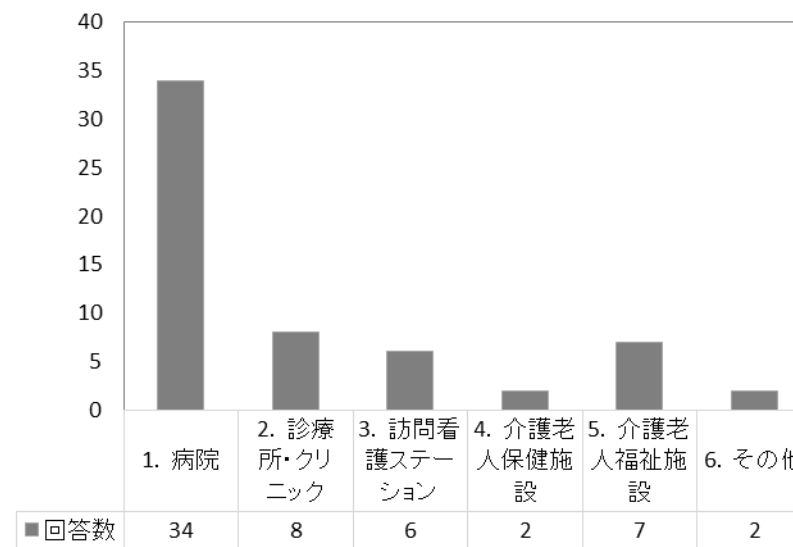
1. 医療機関向けアンケート 集計結果

病院が最も多く、次いで診療所・クリニック、介護老人福祉施設の順

問1. 貴施設の設置主体はどれに該当しますか。

	回答数	比率
1. 病院	34	57.6%
2. 診療所・クリニック	8	13.6%
3. 訪問看護ステーション	6	10.2%
4. 介護老人保健施設	2	3.4%
5. 介護老人福祉施設	7	11.9%
6. その他	2	3.4%
合計	59	100.0%

.施設の設置主体

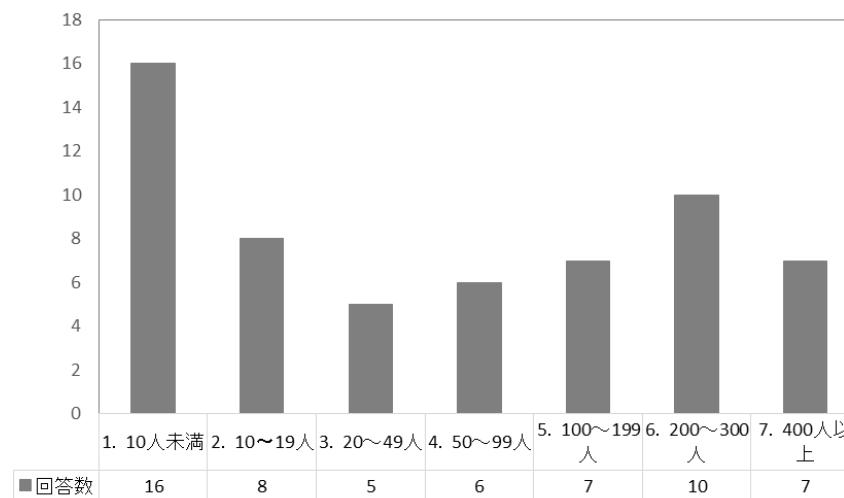


「10人未満」が最も多く、「200～300人」が次いで多い

問2. 平成20年9月1日現在の貴施設の看護師数について、選んでください。

	回答数	比率
1. 10人未満	16	27.1%
2. 10～19人	8	13.6%
3. 20～49人	5	8.5%
4. 50～99人	6	10.2%
5. 100～199人	7	11.9%
6. 200～300人	10	16.9%
7. 400人以上	7	11.9%
合計	59	100.0%

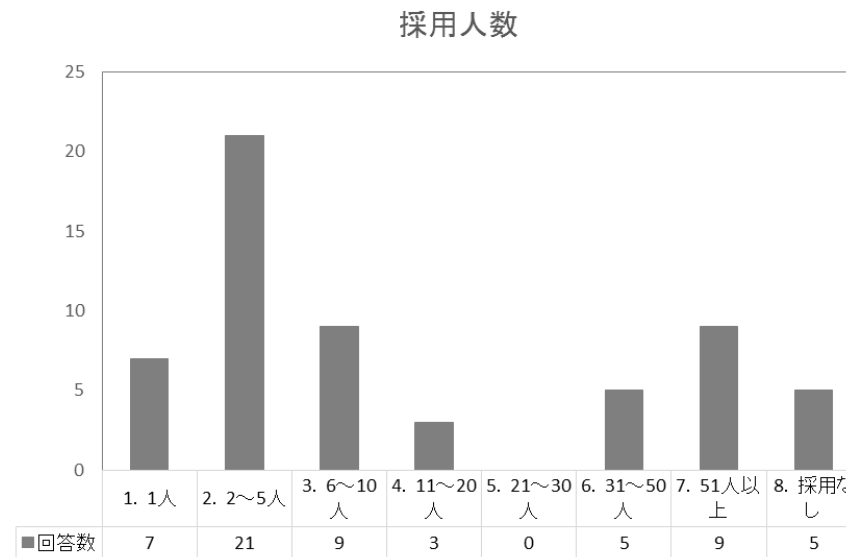
看護師数



昨年度内の新規採用看護師は「2～5人」が最も多く、「6～10人」や「51人以上」も次いで多い

問3. 貴施設で平成27年度内(平成27年4月から28年3月) に新規に採用した看護師の数をおたずねします。

	回答数	比率
1. 1人	7	11.9%
2. 2～5人	21	35.6%
3. 6～10人	9	15.3%
4. 11～20人	3	5.1%
5. 21～30人	0	0.0%
6. 31～50人	5	8.5%
7. 51人以上	9	15.3%
8. 採用なし	5	8.5%
合計	59	100.0%

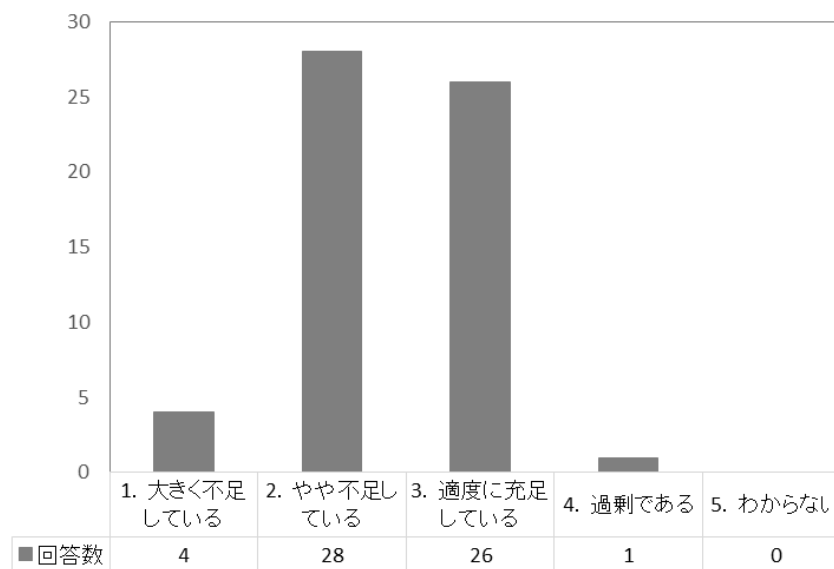


「大きく不足している」と「やや不足している」の合計が32施設と過半数

問4. 平成28年9月1日現在の貴施設における看護師の充足状況について、選んでください。

	回答数	比率
1. 大きく不足している	4	6.8%
2. やや不足している	28	47.5%
3. 適度に充足している	26	44.1%
4. 過剰である	1	1.7%
5. わからない	0	0.0%
合計	59	100.0%

看護師充足状況

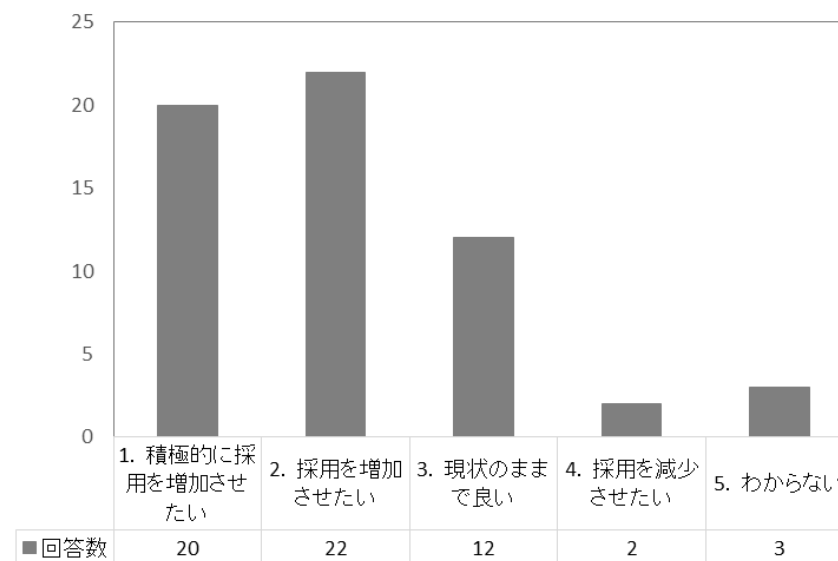


「積極的に増加させたい」と「増加させたい」の合計が42施設

問5. 貴施設の、看護師の将来的な採用方針についておたずねします。

	回答数	比率
1. 積極的に採用を増加させたい	20	33.9%
2. 採用を増加させたい	22	37.3%
3. 現状のままで良い	12	20.3%
4. 採用を減少させたい	2	3.4%
5. わからない	3	5.1%
合計	59	100.0%

将来的な採用方針

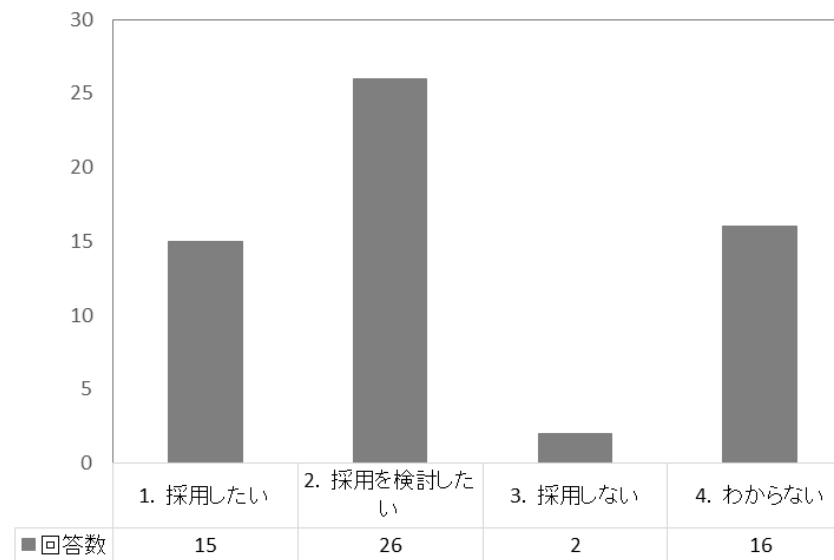


「採用したい」「検討したい」の合計は41施設

問6. 本学「スポーツ・健康科学部看護学科」(仮称)で学んだ学生の新卒採用について、貴事業所の考え方に最も近い物をお選びください。

	回答数	比率
1. 採用したい	15	25.4%
2. 採用を検討したい	26	44.1%
3. 採用しない	2	3.4%
4. わからない	16	27.1%
合計	59	100.0%

本学の新卒採用



看護学科における総採用人数のポテンシャルは、少なく見積もっても125人となった

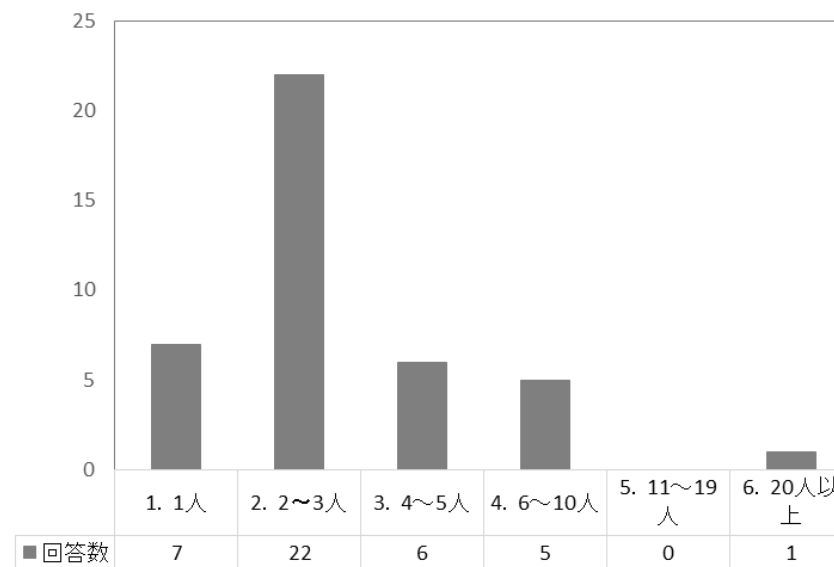
問7. 問6で「1. 採用したい」「2. 採用を検討したい」を選択いただいた方におたずねします。具体的な人数を選んでください。

	回答数	比率
1. 1人	7	17.1%
2. 2~3人	22	53.7%
3. 4~5人	6	14.6%
4. 6~10人	5	12.2%
5. 11~19人	0	0.0%
6. 20人以上	1	2.4%
合計	41	100.0%

※以下の数式でミニマムの総採用人数を算出した。

$$1人 \times 7 + 2人 \times 22 + 4人 \times 6 + 6人 \times 5 + 20人 \times 1 = 125人$$

本学の新卒採用



平成 28 年 10 月 吉日

人事採用担当者 各位

大東文化大学 学長 太田 政男
キャリアセンター 所長 長谷川 礼

新学部新学科設置に関するアンケート調査へのご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は本学の教育研究活動および学生の採用に関し、ご理解・ご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

本学では、2023年の大学創立百周年に向けて将来基本計画「DAITO VISION 2023」を策定し、その具体的施策として、2018年春に「スポーツ・健康科学部 看護学科」「文学部 歴史文化学科」「社会学部 社会学科」（全て仮称）の設置を構想しております。そこで今回、医療・介護関係施設の採用ご担当者の皆さまから、「看護学科」（仮称）の設置についての率直な意見をお聞きし、学科設置の参考にさせていただきたいと思い、アンケートを実施することとなりました。

本調査結果は、新学科設置のための統計資料としてのみ使用させていただきますので、回答内容が貴施設の採用活動に影響をおぼすことは一切ございません。また、個別の施設名等が公表されることはありません。

つきましては、ご多忙の折、大変お手数ではございますが、アンケートをお送りさせていただきますので、本調査の主旨をご理解の上、何卒ご協力いただきたくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 調査方法
・別添のリーフレットをご参照のうえ、裏面のアンケートにお答えください。

2. 調査締切日
・誠に勝手ながら集計作業の都合上、**平成 28 年 10 月 28 日（金）**を目途に、本用紙をご返送いただければ幸いです。
・同封の返信用封筒（切手不要）にてご投函下さい。

貴施設名	貴部署名	お名前
〒 -		
ご連絡先 電話 ()		

●調査実施に関するお問い合わせ先：大東文化大学 学務部（担当：葉輪、矢部、中野）
電話：03-5399-7333（平日9時～17時 土曜9時～12時） E-mail: gakumu@jm.daito.ac.jp

※ なお、本調査の実施は、所定の契約を結んだ上で業務委託しておりますので、返信用封筒の返送先は、業務委託先である下記調査会社となっております。
株式会社リクルートマーケティングパートナーズ まなび事業本部 調査担当：小竹・高内
〒104-0031 東京都中央区京橋2-1-3 京橋トラストタワー 8F（電話：03-6835-3924 FAX：03-6705-0244）

大東文化大学 新学部新学科 設置に関するアンケート調査

本学では、2023年の大学創立百周年に向けて「アジアから世界へ—多文化共生を目指す新しい価値の不断の創造」という新理念のもと将来基本計画「DAITO VISION 2023」を策定し、その具体化に向け、2018年春に「文学部 歴史文化学科」「社会学部 社会学科」（全て仮称）の設置を構想しております。
皆様のご厚意なきご意見を承り、よりよき教育の実現を目指しますので、ご協力のほど宜しくお願い致します。

問1 貴施設の設置主体はどれに該当しますか、1つだけ選んでください。 【回答欄】

1. 病院	2. 診療所・クリニック	3. 訪問看護ステーション
4. 介護老人保健施設	5. 介護老人福祉施設	6. その他

問2 平成28年9月1日現在の貴施設の看護師数について、次の中から該当するものを1つだけ選んでください。

1. 10人未満	2. 10～19人
3. 20～49人	4. 50～99人
5. 100～199人	6. 200～399人
7. 400人以上	

問3 貴施設で平成27年度内（平成27年4月～28年3月）に新規に採用した看護師の数を教えてください。次の中から該当するものを1つだけ選んでください。

1. 1人	2. 2～5人
3. 6～10人	4. 11～20人
5. 21～30人	6. 31～50人
7. 51人以上	8. 採用なし

問4 平成28年9月1日現在の貴施設における看護師の充足状況について、次の中から該当するものを1つだけ選んでください。

1. 大きく不足している	2. やや不足している
3. 適度に充足している	4. 過剰である
5. わからない	

問5 貴施設の、看護師の将来的な採用方針についてお答えください。次の中から該当するものを1つだけ選んでください。

1. 積極的に採用を増加させたい	2. 採用を増加させたい
3. 現状のままでよい	4. 採用を減少させたい
5. わからない	

問6 本学「スポーツ・健康科学部看護学科」（仮称）で学んだ学生の新卒採用について、貴事業所の考え方に最も近いものを1つだけお選びください。

1. 採用したい	2. 採用を検討したい
3. 採用しない	4. わからない

問7 問6で「1. 採用したい」「2. 採用を検討したい」を選択いただいた方にお答えします。具体的な人数を、次の中から該当するものを1つだけ選んでください。

1. 1人	2. 2～3人
3. 4～5人	4. 6～10人
5. 11～19人	6. 20人以上

*** これでアンケートは終了です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。***



大東文化大学 新学部新学科 設置に関するアンケート調査

本学では、2023年の大学創立百周年に向けて「アジアから世界へ—多文化共生を目指す新しい価値の不断の創造」という新理念のもと将来基本計画「DAITO VISION 2023」を策定し、その具体化に向け、2018年春に「文学部 歴史文化学科」「社会学部 社会学科」(全て仮称)の設置を構想しております。

皆様の忌憚なきご意見を承り、よりよき教育の実現を目指しますので、ご協力のほど宜しくお願い致します。

問1 貴施設の設置主体はどれに該当しますか。1つだけ選んでください。

- | | | |
|-------------|--------------|---------------|
| 1. 病院 | 2. 診療所・クリニック | 3. 訪問看護ステーション |
| 4. 介護老人保健施設 | 5. 介護老人福祉施設 | 6. その他 |

【回答欄】

問2 平成28年9月1日現在の貴施設の看護師数について、次の中から該当するものを1つだけ選んでください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 10人未満 | 2. 10～19人 |
| 3. 20～49人 | 4. 50～99人 |
| 5. 100～199人 | 6. 200～399人 |
| 7. 400人以上 | |

問3 貴施設で平成27年度内(平成27年4月～28年3月)に新規に採用した看護師の数を教えてください。
次の中から該当するものを1つだけ選んでください。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 1人 | 2. 2～5人 |
| 3. 6～10人 | 4. 11～20人 |
| 5. 21～30人 | 6. 31～50人 |
| 7. 51人以上 | 8. 採用なし |

問4 平成28年9月1日現在の貴施設における看護師の充足状況について、次の中から該当するものを1つだけ選んでください。

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 大きく不足している | 2. やや不足している |
| 3. 適度に充足している | 4. 過剰である |
| 5. わからない | |

問5 貴施設の、看護師の将来的な採用方針についておたずねします。
次の中から該当するものを1つだけ選んでください。

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. 積極的に採用を増加させたい | 2. 採用を増加させたい |
| 3. 現状のままでよい | 4. 採用を減少させたい |
| 5. わからない | |

問6 本学「スポーツ・健康科学部看護学科」(仮称)で学んだ学生の新卒採用について、貴事業所の考え方に最も近いものを1つだけお選びください。

- | | |
|----------|-------------|
| 1. 採用したい | 2. 採用を検討したい |
| 3. 採用しない | 4. わからない |

問7 問6で「1. 採用したい」「2. 採用を検討したい」を選択いただいた方におたずねします。
具体的な人数を、次の中から該当するものを1つだけ選んでください。

- | | |
|-----------|----------|
| 1. 1人 | 2. 2～3人 |
| 3. 4～5人 | 4. 6～10人 |
| 5. 11～19人 | 6. 20人以上 |



看護学科設置に関する 要望書

本学看護学科設置に関する東松山市及び周辺の医療機関からの要望書（下記4件）を添付した。

東松山市立市民病院
公益社団法人 東松山医師会
森田光一東松山市長
独立行政法人国立病院機構 埼玉病院

これは原本と相違ありません。

平成29年3月22日

学校法人 大東文化学園

理事長 大橋 英五

